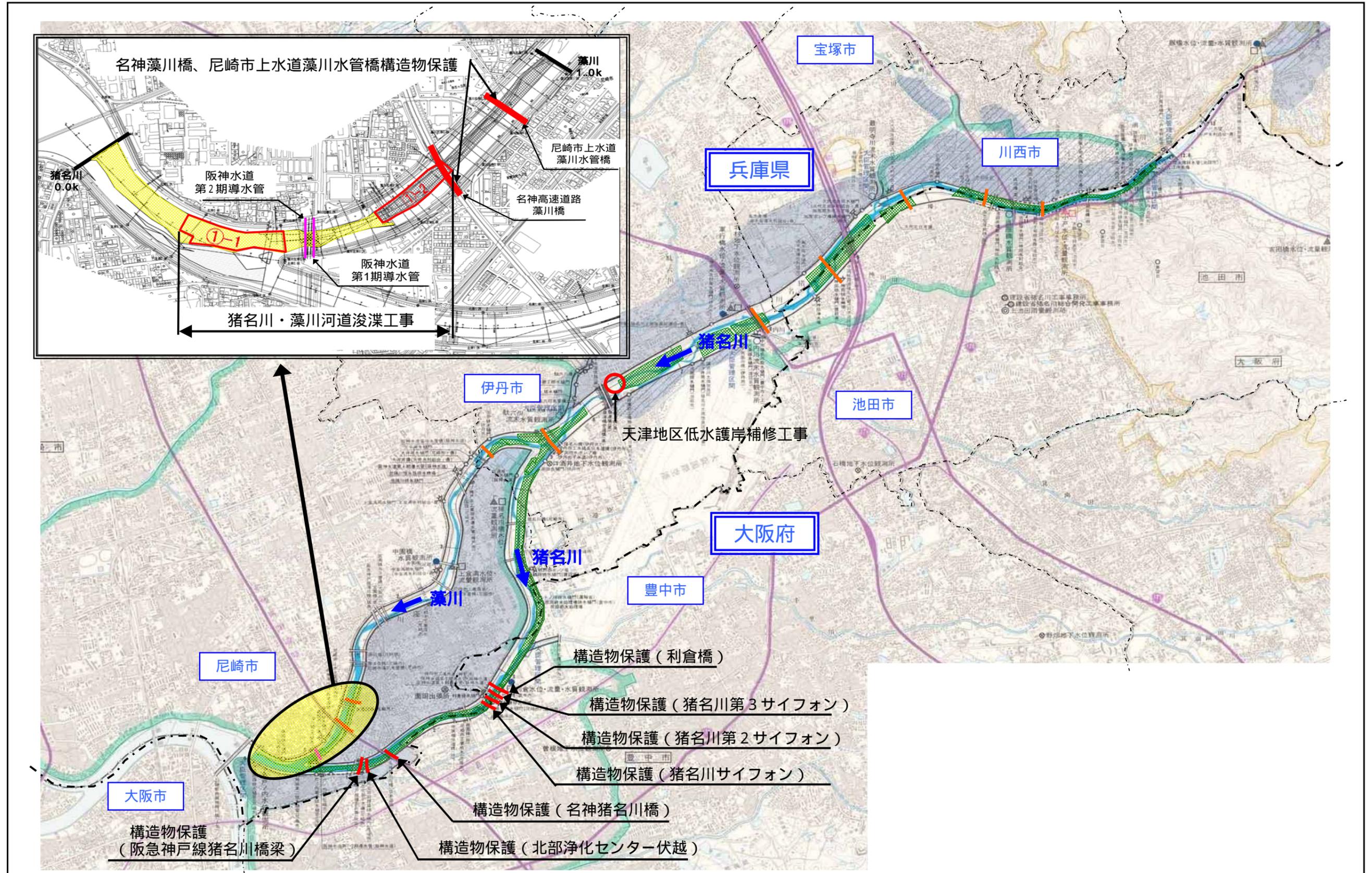


# 平成23年度 工事予定箇所への河川環境への影響評価と対策について

国土交通省 近畿地方整備局  
猪名川河川事務所

# 平成23年度 工事予定箇所位置図



## 平成23年度工事予定箇所の詳細および自然環境委員会・構造検討部会による対応方針

番号	工事名	工事区間	工事内容	第18回猪名川自然環境委員会による方針	評価	第10回構造検討部会による方針
	猪名川・藻川河道浚渫工事	-1(掘削浚渫範囲) 猪名川0.4～0.6km	工事延長 L=258m 河道掘削 V=16,000m <sup>3</sup>	・工事の区域および施工方法は了承いただいた。但し、発見されている植物の重要種であるカワジシヤ、ゴキツルは1年草であり、移植は困難であり、移植は困難なため種子を採取し、工事後に復元等の処置を施す(種子の保管は服部委員に相談する)。	B	・締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査し、出現種は川に戻す。(目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する)。 ・猪名川ではオギが多いが、ヨシは珍しい。植生を維持するために、ヨシ原の表土を根っことともに仮置きし、掘削法面に戻し植生を復旧すること。また、仮設道路についても同様とする。 ・ヨシ原内の仮設道路は必要最小限とすること。
		-2(掘削浚渫範囲) 藻川0.3～0.5km	工事延長 L=270m 河道掘削 V=8,000m <sup>3</sup>			
	名神藻川橋、尼崎市上水道藻川水管橋 構造物保護	藻川0.5～0.8km付近 河道内	構造物保護 河道締め切り 河道浚渫	・工事影響範囲がきわめて小規模であり、影響がないと判断できるが、事前調査により重要種等が発見された場合、再度検討する。	B	・締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査し、出現種は川に戻す。(目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する)。
	天津地区低水護岸補修工事	猪名川6.0～6.5km付近 右岸側	護岸復旧工 L=35.2m 護床ブロック L=35.2m 仮締切工 L=99.0m	・工事影響範囲が比較的小規模であり、影響がないと判断できるが、事前調査により重要種等が発見された場合、再度検討する。 ・締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査する(目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する)。	B	・締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査し、出現種は川に戻す。(目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する)。 ・ツルヨシを除去し、礫河原の確保に努めること。
	利倉橋、猪名川サイフォン、猪名川第2サイフォン、猪名川第3サイフォン 構造物保護	猪名川2.7～2.8km付近	構造物保護	・工事影響範囲がきわめて小規模であり、影響がないと判断できるが、事前調査により重要種等が発見された場合、再度検討する。 ・締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査する(目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する)。	B	・締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査し、出現種は川に戻す。(目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する)。
	名神猪名川橋、阪急神戸線猪名川橋梁、北部浄化センター伏越 構造物保護	猪名川1.1～1.5km付近	構造物保護	・工事影響範囲がきわめて小規模であり、影響がないと判断できるが、事前調査により重要種等が発見された場合、再度検討する。 ・締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査する(目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する)。	B	・締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査し、出現種は川に戻す。(目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する)。

**[評価基準]**

- A: 生態環境面からみて重要な場所あるいは工事であり、有識者の助言を受けながら進める必要がある事業。
- B: 生態環境面からは重要かどうかは今すぐにはわからないため、有識者と現地等の確認の上で重要かどうかを判断する必要がある事業。
- C: 生態環境面には大きな影響を与えないと考えられる事業。

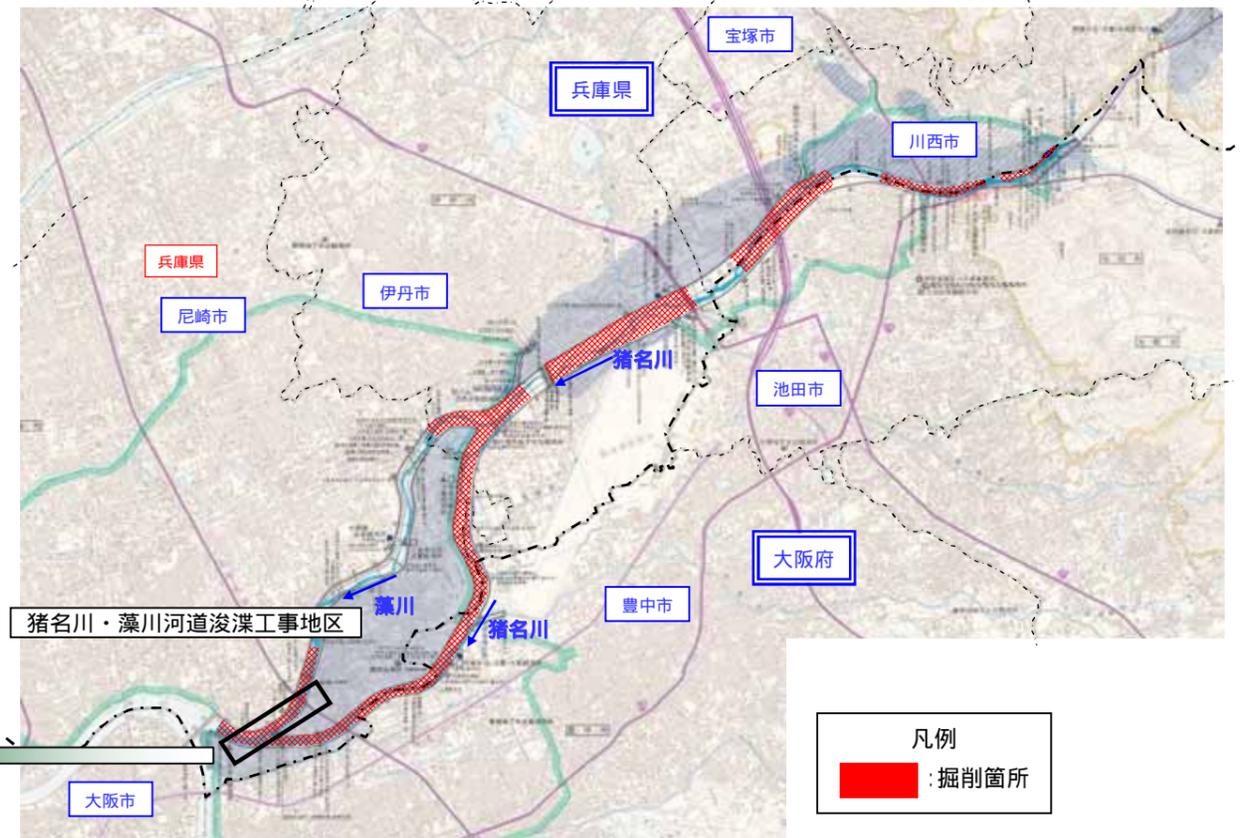


第18回猪名川自然環境委員会(平成23年3月11日)にて、「B判定とし”事前調査にて特出すべき種類が発見された場合は、工事前に委員会または、構造部会に諮る”」となった。

# 猪名川・藻川河道浚渫工事

担当課：工務課	
工事名称	猪名川・藻川河道浚渫工事
工事目的	<p>目的 淀川水系河川整備計画における流下能力増大のための河道浚渫、掘削工事</p> <p>内容 河道掘削 V=17,000m<sup>3</sup> 仮設坂路（猪名川右岸側0.5km付近） 仮設ヤード（猪名川右岸0.1km付近）</p>
工事場所	掘削浚渫範囲 藻川0.3～1.0km付近 河道内 仮設ヤード猪名川0.0～0.6km
工事期間	
工事位置図 断面図等	
自然環境の把握状況 (主に特定種の情報など)	<p>魚類：猪名川0.4～0.6kmでウナギ、ウロハゼ、カワアナゴ、タウナギ、チチブが確認されている。藻川は対象区域上流(3.6～4.2km)でウキゴリ、ウナギ、カワアナゴ、ギギ、コウライモロコ、タウナギ、タモロコ、ドジョウ、メダカが確認されている(H19年度水国)</p> <p>底生動物：猪名川0.4～0.6kmおよび藻川0.0～0.6kmでイシマキガイ、カワザンショウガイ、ヤマトシジミ、ミソレヌマエビ、ユビナガスジエビ、クロベンケイガニが確認されている(H20年度水国)</p> <p>植物：藻川0.0～1.0kmでカワジシャ、カワラサイコが確認されている(H21年度水国)</p> <p>鳥類：藻川1.0km地点でアオジ、オオジュリン、オオヨシキリ、コアジサシ、マガモが、藻川0.5,1.0km地点でササゴイが、藻川0.0、0.5km、猪名川0.0km地点でカムリカイツブリが確認されている(H18年度水国)</p>
その他	
環境上の配慮事項(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水域の浚渫および掘削工事は、濁水が最小限となるよう配慮する。</li> <li>・浚渫によるヨシ帯の縮小への配慮を行う。</li> <li>・重要種（カワジシャ）の生息環境消失への移植等の対応を行う。</li> <li>・締切後、魚介類を川に戻す。</li> </ul>
上記の配慮を達成するための設計上、施工上の工夫・改良(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨシ帯の浚渫範囲を最小となるようにする。</li> <li>・植物の重要種については可能な限り、移植等の対策をとる。</li> <li>・掘削箇所以外の水域の攪乱(締め切り、重機進入路等)を最小限とし、対象区域の事前調査を実施し、移植等の配慮を行う。</li> </ul>
調査方針(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事前に重要種確認ため簡易状況調査（植物、魚介類等）を行う。</li> </ul>

## 淀川水系河川整備計画における掘削箇所



### 第18回 猪名川自然環境委員会

・工事の区域および施工方法は了承いただいた。但し、発見されている植物の重要種であるカワジシャ、ゴキツルは1年草であり、移植は困難であり、移植は困難なため種子を採取し、工事後に復元等の処置を施す（種子の保管は服部委員に相談する）。



### 第10回 構造検討部会

・締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査し、出現種は川に戻す。（目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する）。

・猪名川ではオギが多いが、ヨシは珍しい。植生を維持するために、ヨシ原の表土を根っことともに仮置きし、掘削面に戻し植生を復旧すること。また、仮設道路についても同様とする。

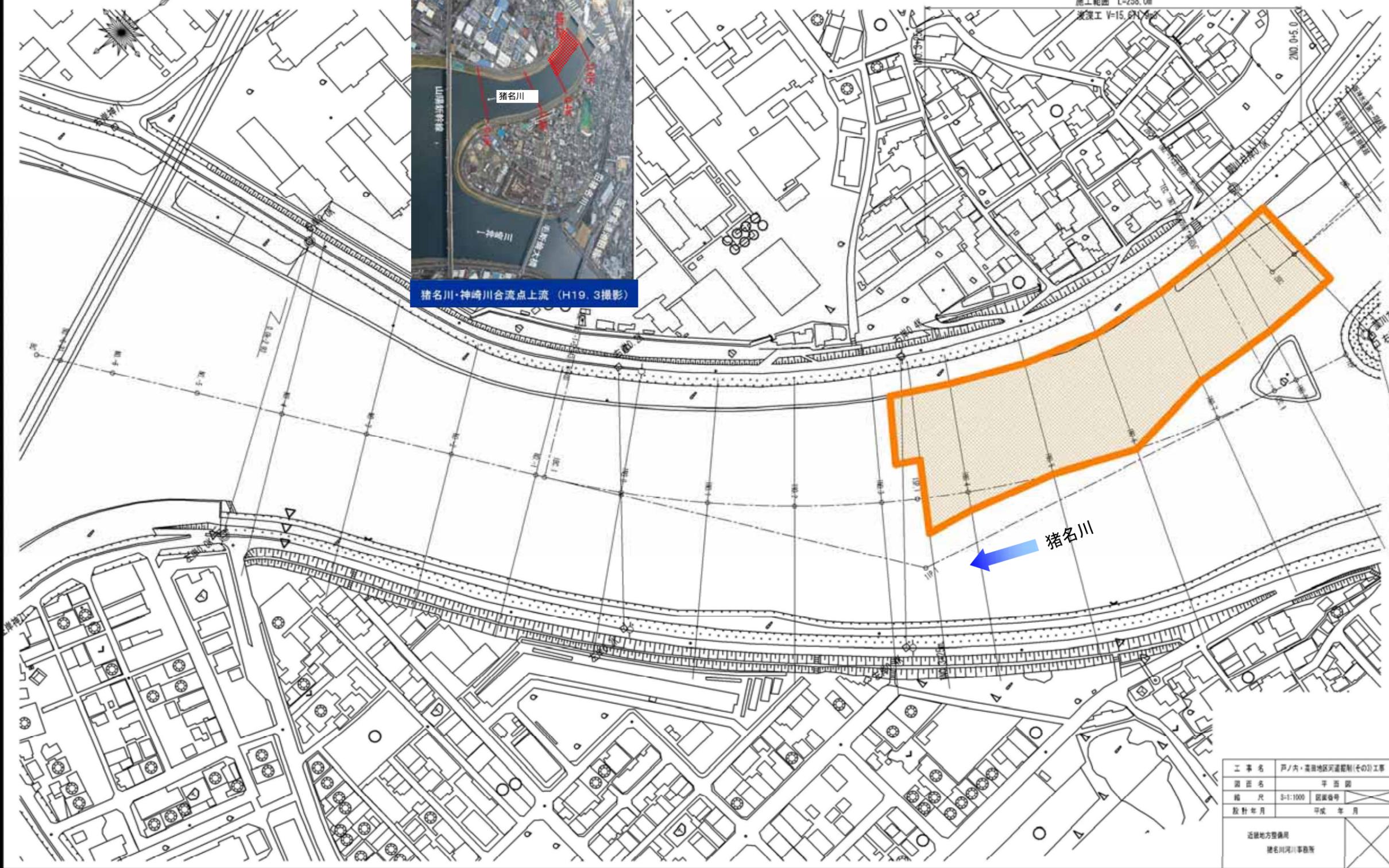
・ヨシ原内の仮設道路は必要最小限とすること。

平面図 S=1:1000

施工範囲 L=258.0m  
水深工 V=15.6m

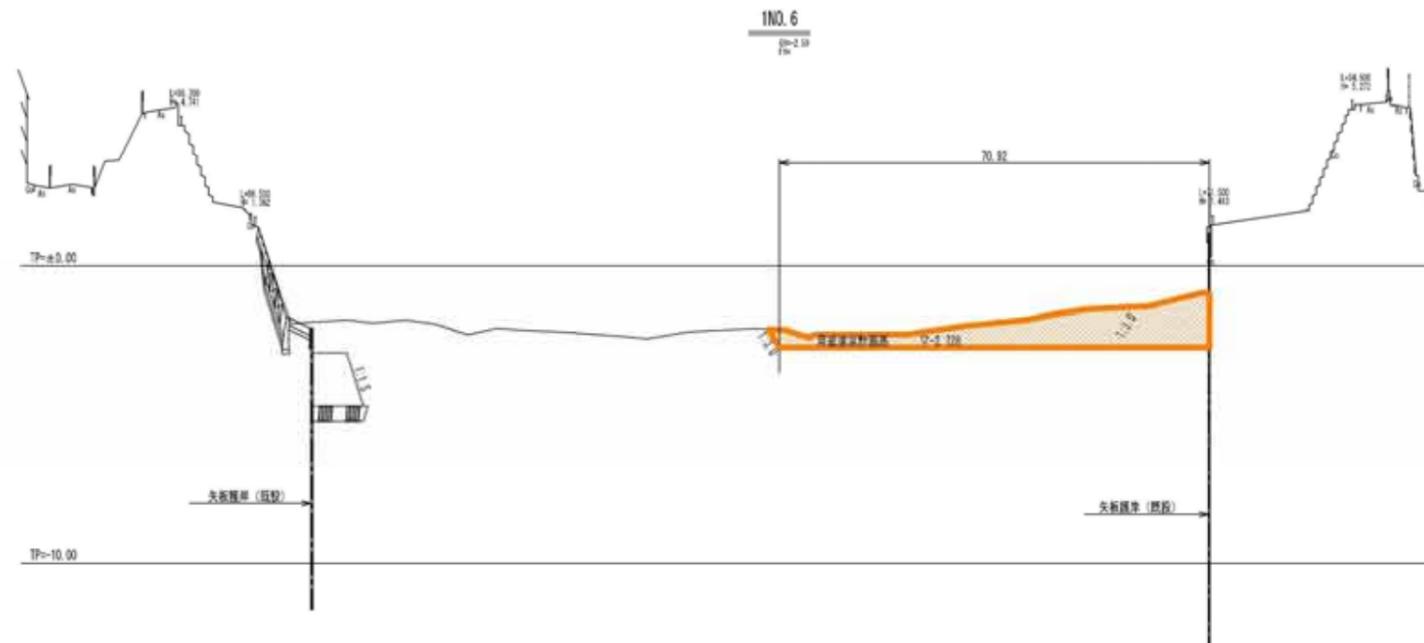
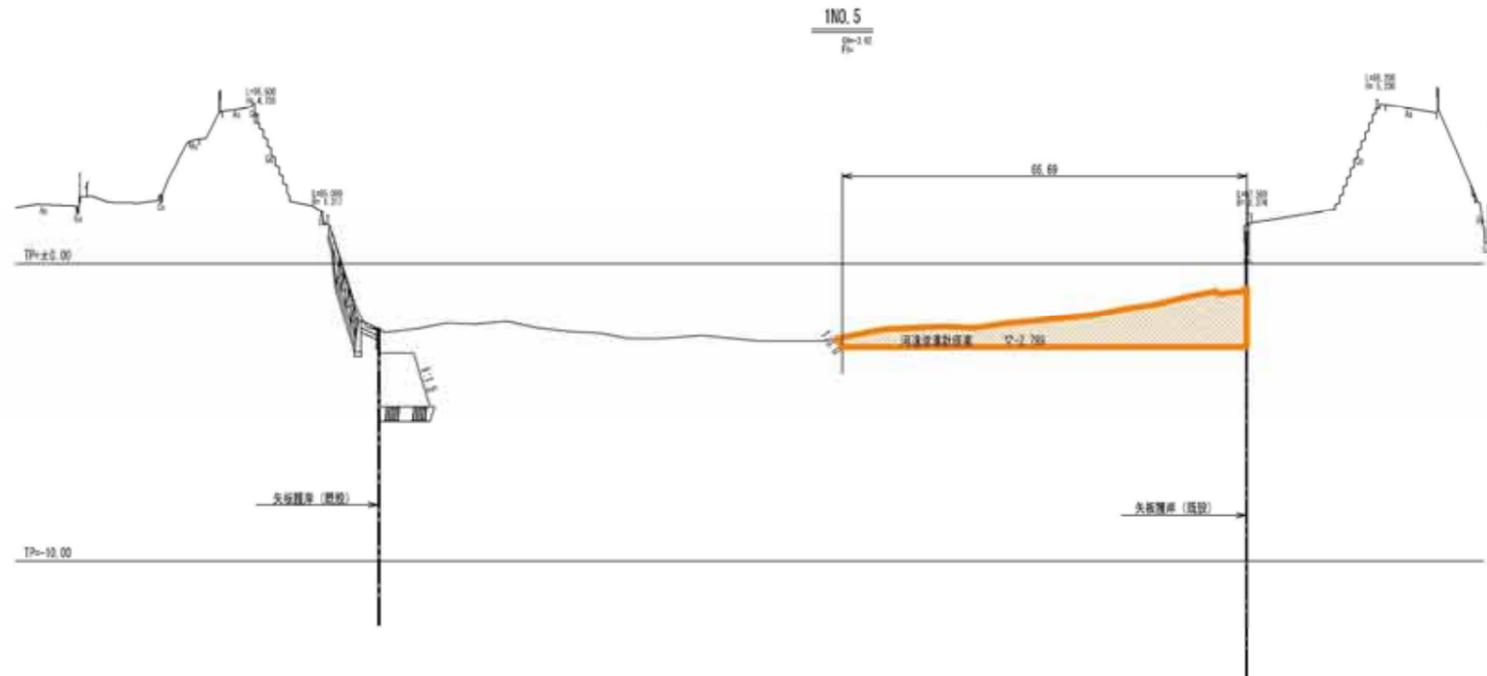


猪名川・神崎川合流点上流 (H19. 3撮影)



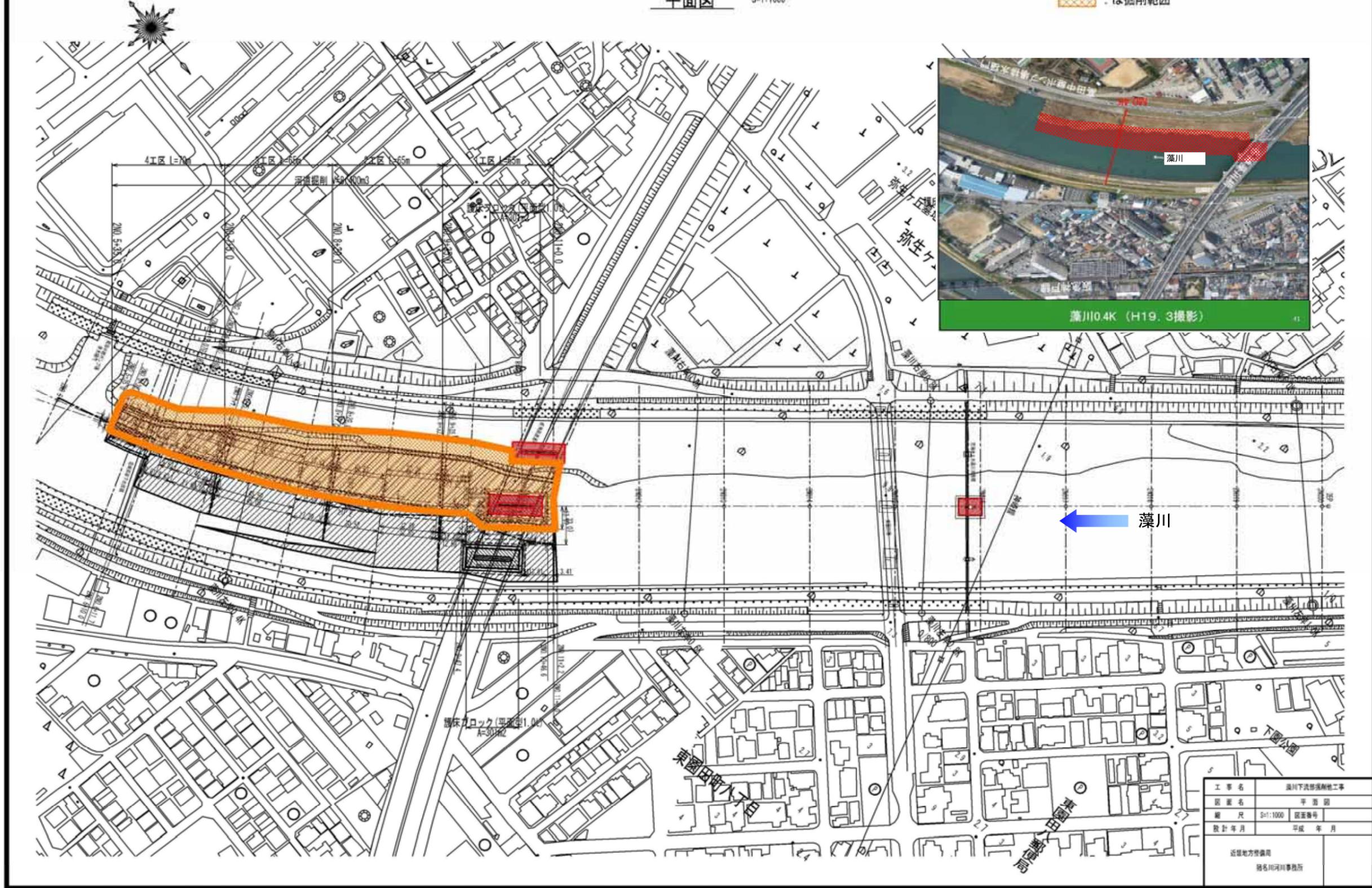
工事名	戸ノ内・高野地区河運規制(その2)工事		
図面名	平面図		
縮尺	S=1:1000	図面番号	
設計年月	平成 年 月		
近畿地方整備局 徳島川河川事務所			

標準横断面 SH=1:500, SV=1:100



は掘削範囲

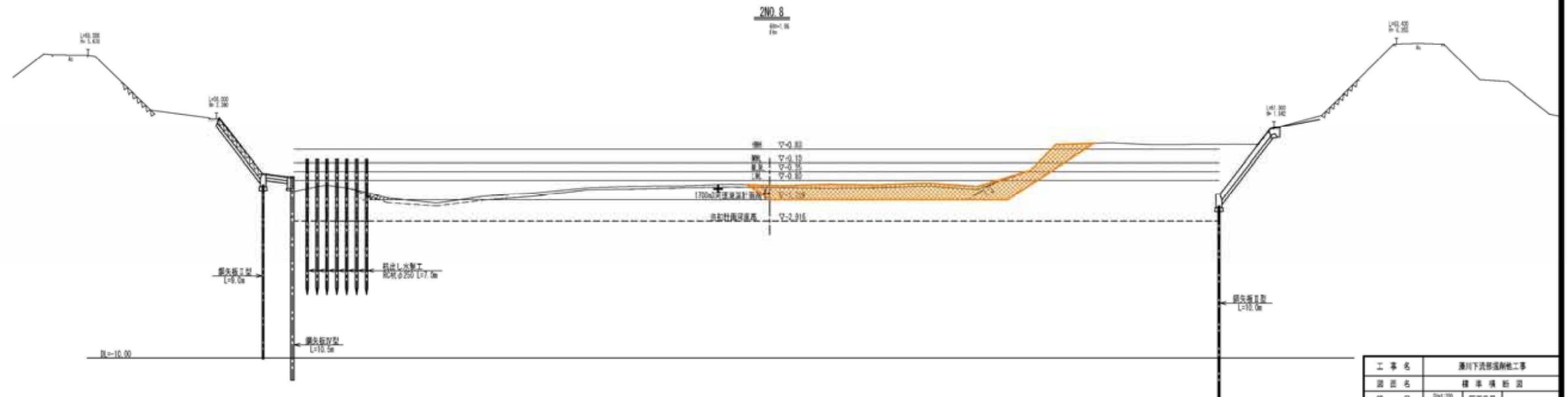
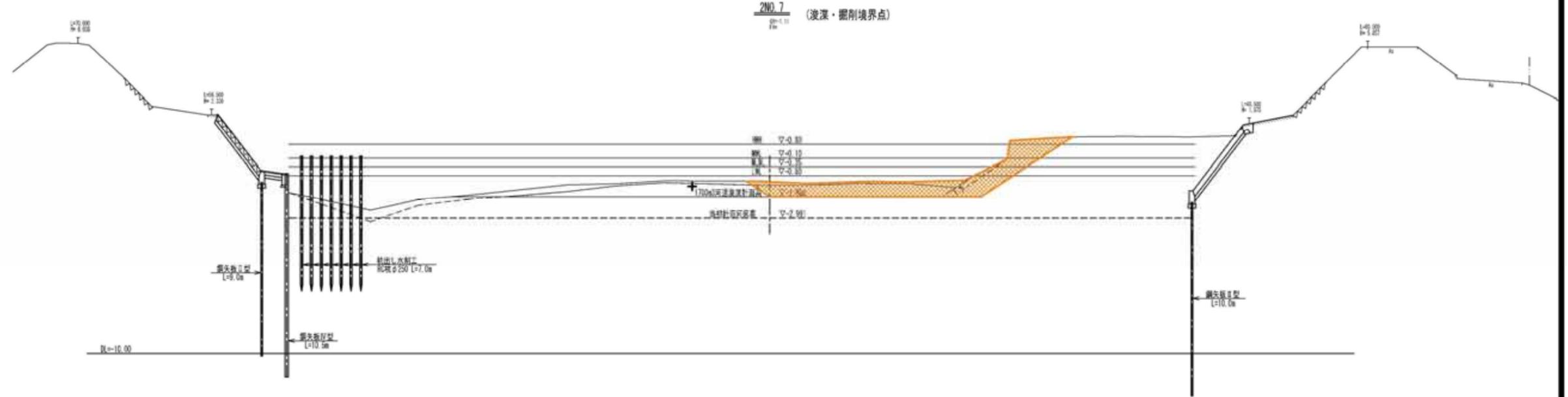
工事名	戸ノ内・栗田地区河川改修(その3)工事		
図面名	標準断面(2)		
縮尺	SH:1/500	区画番号	栗之内
設計年月	平成	年	月
近畿地方整備局 徳島川河川事務所			



工事名	藻川下流部掘削工事
図面名	平面図
縮尺	S=1:1000 図面番号
設計年月	平成 年 月
近隣地方整備局 沼名川河川事務所	

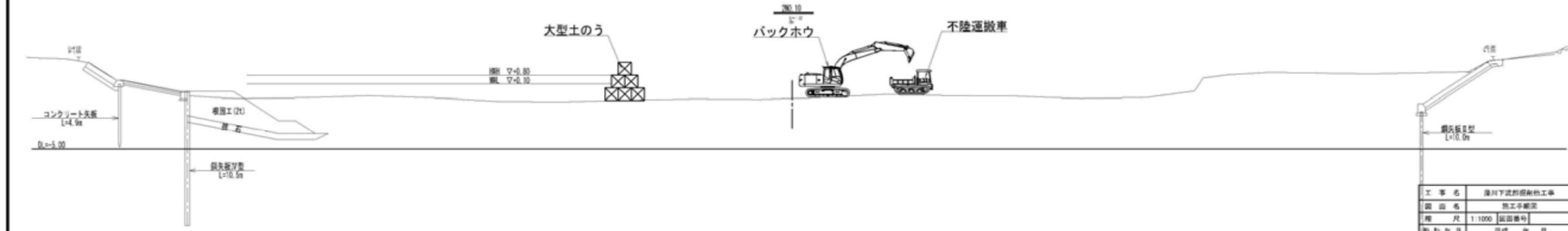
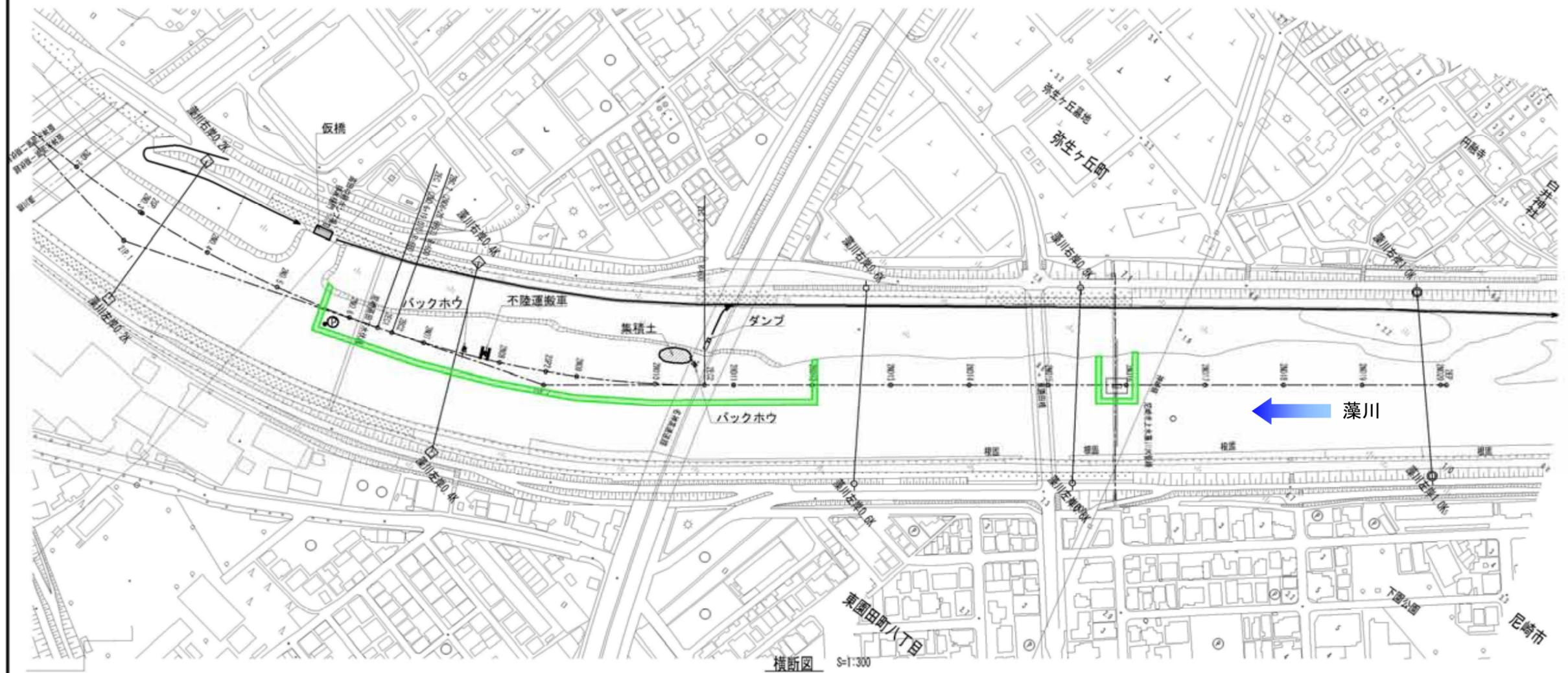
- 2

標準横断面 SH=1:200, SV=1:100



工事名	瀬川下流部堤防補修工事	
図面名	標準横断面	
縮尺	SH=1:200	図面番号
設計年月	平成 年 月	
近畿地方整備局 徳島川河川事務所		

**施工手順図**  
 【S1-1】水上施工:台船使用[据替あり]      STEP2:水替え~右岸掘削  
 平面図 S=1:2500



工事名	藻川下流河川整備工事
図名	施工手順図
縮尺	1:1000 (図面標準)
設計年月	平成 年 月
近畿地方整備局 奈良川河川事務所	

## 生物調査結果

### 1) 調査時期

調査内容及び調査実施時期を表 1-1 に示す。

表1-1 調査方法及び調査時期

調査項目	調査方法等	調査時期
植物	植物相調査 植生図作成 群落組成調査	春季：平成 23 年 6 月 13 日
鳥類	定点調査法 ルートセンサス法 任意観察法	春季：平成 23 年 6 月 13 日
底生動物	底性採取 底量採取	夏季：平成 23 年 8 月 25 日：調査中
陸上昆虫類	任意採取法 ピットフォールトラップ法	春季：平成 23 年 6 月 13～14 日 夏季：平成 23 年 8 月 23～24 日
両生・爬虫・哺乳類	捕獲法 目撃法 フィールドサイン法 トラップ法(カメ類)	春季：平成 23 年 6 月 13 日、29 日～30 日 初夏：平成 23 年 7 月 26～27 日
魚類	投網 タモ網 定置網 セルびんを用いた捕獲	夏季：平成 23 年 8 月 23～25 日
ヒメボタル調査	目撃法	春季：平成 23 年 6 月 8 日

春季両生・爬虫・哺乳類調査は、トラップ法(カメ類)のみ特別採捕許可取得後の月末に実施した。

### 2) 調査結果

#### (1) 植物

確認された重要種を表 1-2 に示す。

本調査地区では植物の重要種としてカワヂシャが確認された。カワヂシャは低水敷水際部で確認された。カワヂシャの種子の採取を行うように努める。

表1-2 植物重要種一覧

No	種名	工事箇所事前調査				重要種			
		環境省 RL	近畿 RDB	兵庫県 RDB	大阪府 RDB				
1	カワヂシャ					NT	準絶滅	C	要注目
	確認種数	1	1	0	0	1	1	1	1

天津地区では植物調査は実施していない。

工事箇所  
猪名川・藻川河道浚渫工事  
名神猪名川橋、尼崎市上水道藻川水管橋構造物保護  
天津地区低水護岸補修工事  
利倉橋、猪名川サイフォン、猪名川第2サイフォン、猪名川第3サイフォン 構造物保護  
名神猪名川橋、阪急神戸線猪名川橋梁、北部浄化センター伏越 構造物保護



カワヂシャ(平成 23 年 6 月撮影)



カワヂシャ(平成 23 年 6 月撮影)

#### (2) 鳥類

確認された重要種を表 1-3 に示す。

本調査地区では鳥類の重要種としてササゴイ、オオヨシキリが確認された。

ササゴイは河川の水面や水際で採食するため、工事による濁水の発生により採食環境に影響が及ぶ可能性がある。またオオヨシキリはヨシ等の草地に生息するため、工事により生息環境に影響が及ぶ可能性がある。

オオヨシキリの繁殖期(5月～8月)を避けて河川工事を行う

表1-3 鳥類重要種一覧

No	種名	渡り区分	工事箇所事前調査				重要種			
			環境省 RL	近畿 RDB	兵庫県 RDB	大阪府 RDB				
1	ササゴイ	夏鳥	1				3(繁殖)	C	準絶滅危惧	
2	オオヨシキリ	夏鳥	10		50		3(繁殖)	B	準絶滅危惧	
	個体数合計		11	0	50	0				
	確認種数		2	0	1	0	0	2	2	

個体数合計は定点調査法、ルートセンサス法、任意観察法のそれぞれの個体数の合計値である。

工事箇所  
猪名川・藻川河道浚渫工事  
名神猪名川橋、尼崎市上水道藻川水管橋構造物保護  
天津地区低水護岸補修工事  
利倉橋、猪名川サイフォン、猪名川第2サイフォン、猪名川第3サイフォン 構造物保護  
名神猪名川橋、阪急神戸線猪名川橋梁、北部浄化センター伏越 構造物保護

#### (3) 底生動物

現在調査中である。

(4) 陸上昆虫類

確認された重要種を表 1-4 に示す。

本調査地区では陸上昆虫類の重要種としてヤマトアオドウガネが確認された。

ヤマトアオドウガネは河岸部の近くに生息しているが、工事区域外であり、影響は少ないと考えられる。

表 1-4 陸上昆虫類重要種一覧

No	種名	工事箇所事前調査										重要種				
		春季		夏季		春季		夏季		春季		夏季		環境省 RL	兵庫県 RDB	大阪府 RDB
		春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季					
1	ヤマトアオドウガネ													要調査種		
確認種数		0	1							0	1	0	0	0	1	0

名神藻川橋、尼崎市上水道藻川水管橋、天津地区では陸上昆虫類調査は実施していない。

工事箇所  
 猪名川・藻川河道浚渫工事  
 名神猪名川橋、尼崎市上水道藻川水管橋構造物保護  
 天津地区低水護岸補修工事  
 利倉橋、猪名川サイフォン、猪名川第2サイフォン、猪名川第3サイフォン 構造物保護  
 名神猪名川橋、阪急神戸線猪名川橋梁、北部浄化センター伏越 構造物保護



ヤマトアオドウガネ (平成 23 年 9 月撮影)

(5) 両生・爬虫類

確認された重要種を表 1-5 に示す。

本調査地区では爬虫類の重要種としてニホンヤモリ、ジムグリ、哺乳類の重要種としてカヤネズミおよびイタチ属の一種が確認された。

ジムグリおよびイタチ属の一種は草地や水辺に生息しており、また、カヤネズミは河川敷のイネ科草本群で営巣しているため、工事により生息環境・営巣環境に影響が及ぶ可能性がある。

カヤネズミの生息区域の工事予定箇所では、繁殖期を避けて工事を行うように努める。(繁殖期：8～11月)、工事中にジムグリを発見した場合は、生息環境に似たところの生息環境に移動を行う。

表1-5 両生・爬虫類・哺乳類重要種一覧

No	種名	工事箇所事前調査										重要種				
		春季		初夏		春季		初夏		春季		初夏		環境省 RL	兵庫県 RDB	大阪府 RDB
		春季	初夏	春季	初夏	春季	初夏	春季	初夏	春季	初夏					
1	ニホンイシガメ												情報不足		要注目	
2	ニホンヤモリ													要注目種		
3	ジムグリ													要注目種		
4	カヤネズミ														要注目	
5	イタチ属の一種 <sup>*1</sup>														情報不足	
確認種数		3	3			1	2	1	1	0	2	1	2	3		

名神藻川橋・尼崎市上水道藻川水管橋では両生・爬虫類・哺乳類調査は実施していない。

\*1 イタチ属の一種はニホンイタチまたはチョウセンイタチであり、ニホンイタチは大阪府レッドデータブックの DD(情報不足)に該当する。

工事箇所  
 猪名川・藻川河道浚渫工事  
 名神猪名川橋、尼崎市上水道藻川水管橋構造物保護  
 天津地区低水護岸補修工事  
 利倉橋、猪名川サイフォン、猪名川第2サイフォン、猪名川第3サイフォン 構造物保護  
 名神猪名川橋、阪急神戸線猪名川橋梁、北部浄化センター伏越 構造物保護



ジムグリ (平成 23 年 6 月撮影)



カヤネズミ (球巣)  
(平成 23 年 6 月撮影)



ニホンヤモリ (平成 23 年 7 月撮影)

(6) 魚類

確認された重要種を表 1-6 に示す。

本調査地区では魚類の重要種としてウナギ、ゲンゴロウブナ、メダカが確認された。

メダカは河岸部の流れのゆるい箇所やワンドを主な生息場所としていることから、河道浚渫により生息場が失われる可能性がある。

締め切り内の魚介類の種類、個体数等の調査を行い、魚介類を川に戻す。

表 1-6 魚類重要種一覧

No	種名	工事箇所事前調査					重要種		
							環境省 RL	兵庫県 RDB	大阪府 RDB
1	ウナギ	2	1			1	情報不足		
2	ゲンゴロウブナ	2		4		9	E N		
3	カマツカ			21	10				要注目
4	コウライモロコ			23	6			C	要注目
5	ドジョウ				1			B	絶滅
6	メダカ	5		3			V U	要注目種	絶滅
7	ドンコ			4					要注目
8	ウキゴリ			2				要調査種	絶滅
確認数合計 <sup>*1</sup>		9	1	57	17	10			
確認種数		3	1	6	3	2	3	4	6

\*1 個体数合計は投網、タモ網、定置網、セルびんのそれぞれの個体数の合計値である。

工事箇所  
 猪名川・藻川河道浚渫工事  
 名神猪名川橋、尼崎市上水道藻川水管橋構造物保護  
 天津地区低水護岸補修工事  
 利倉橋、猪名川サイフォン、猪名川第2サイフォン、猪名川第3サイフォン 構造物保護  
 名神猪名川橋、阪急神戸線猪名川橋梁、北部浄化センター伏越 構造物保護



ウナギ (平成 23 年 8 月撮影)



ゲンゴロウブナ (平成 23 年 8 月撮影)



メダカ (平成 23 年 8 月撮影)

(7) ヒメボタル調査

本調査地区ではヒメボタルは確認されていない。

# 名神藻川橋、尼崎市上水道藻川水管橋 構造物保護

担当課：工務課	
工事名称	名神藻川橋、尼崎市上水道藻川水管橋 構造物保護
工事目的	<p>目的 構造物保護</p> <p>内容 構造物保護 河道締め切り 河道浚渫</p>
工事場所	藻川0.5～0.8km付近 河道内
工事期間	
工事位置図 断面図等	
自然環境の把握状況 (主に特定種の情報など)	<p>魚類：藻川は対象区域上流(3.6～4.2km)でウキゴリ、ウナギ、カワアナゴ、ギギ、コウライモロコ、タウナギ、タモロコ、ドジョウ、メダカが確認されている(H19年度水国)</p> <p>底生動物：藻川0.0～0.6kmでイシマキガイ、カワザンショウガイ、ヤマトシジミ、ミソレヌマエビ、ユビナガスジエビ、クロベンケイガニが確認されている(H20年度水国)</p> <p>植物：藻川0.0～1.0kmでカワジシャ、ゴキツルが確認されている(H22年度水国)</p> <p>鳥類：藻川1.0km地点でアオジ、オオジュリン、オオヨシキリ、コアジサシ、マガモが、藻川0.5、1.0km地点でサゴイが、藻川0.0、0.5km地点でカンムリカイツブリが確認されている(H18年度水国)</p> <p>：工事から大きな影響が想定される種</p> <p>：工事から影響が想定される種</p>
その他	
環境上の配慮事項(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 締切後、魚介類を川に戻す。</li> <li>・ ゴキツル、カワジシャ等の重要種の移設等の対応を行う。</li> <li>・ 工事影響範囲を極力小さくする。</li> </ul>
上記の配慮を達成するための設計上、施工上の工夫・改良(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事影響範囲がきわめて小規模であり、影響がないと判断できる。</li> </ul>
調査方針(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事前に重要種確認ため簡易状況調査(植物、魚介類等)を行う。(締め切り内での魚介類簡易調査、仮設部分での植物簡易調査等)</li> </ul>



写真



写真



写真



## 第18回 猪名川自然環境委員会

・ 工事影響範囲がきわめて小規模であり、影響がないと判断できるが、事前調査により重要種等が発見された場合、再度検討する。

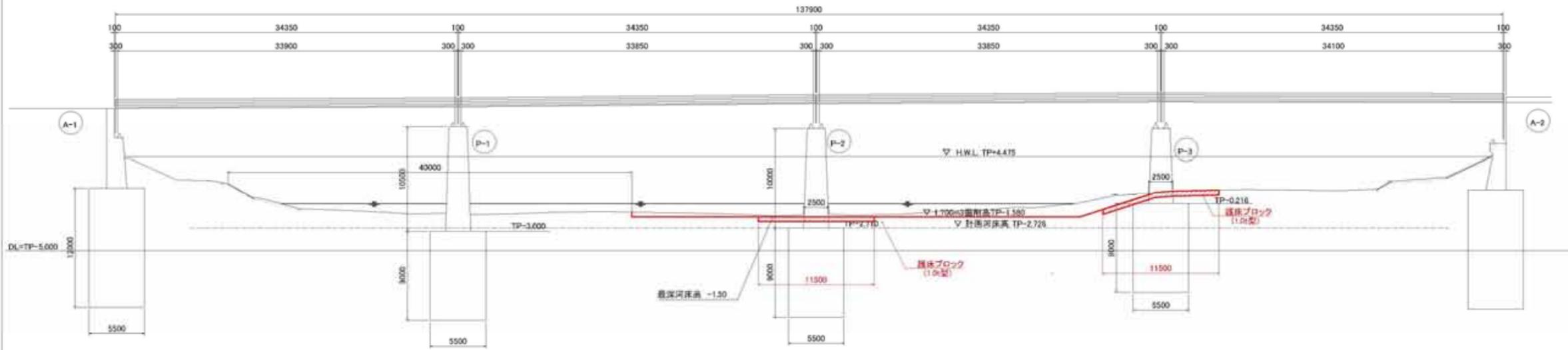


## 第10回 構造検討部会

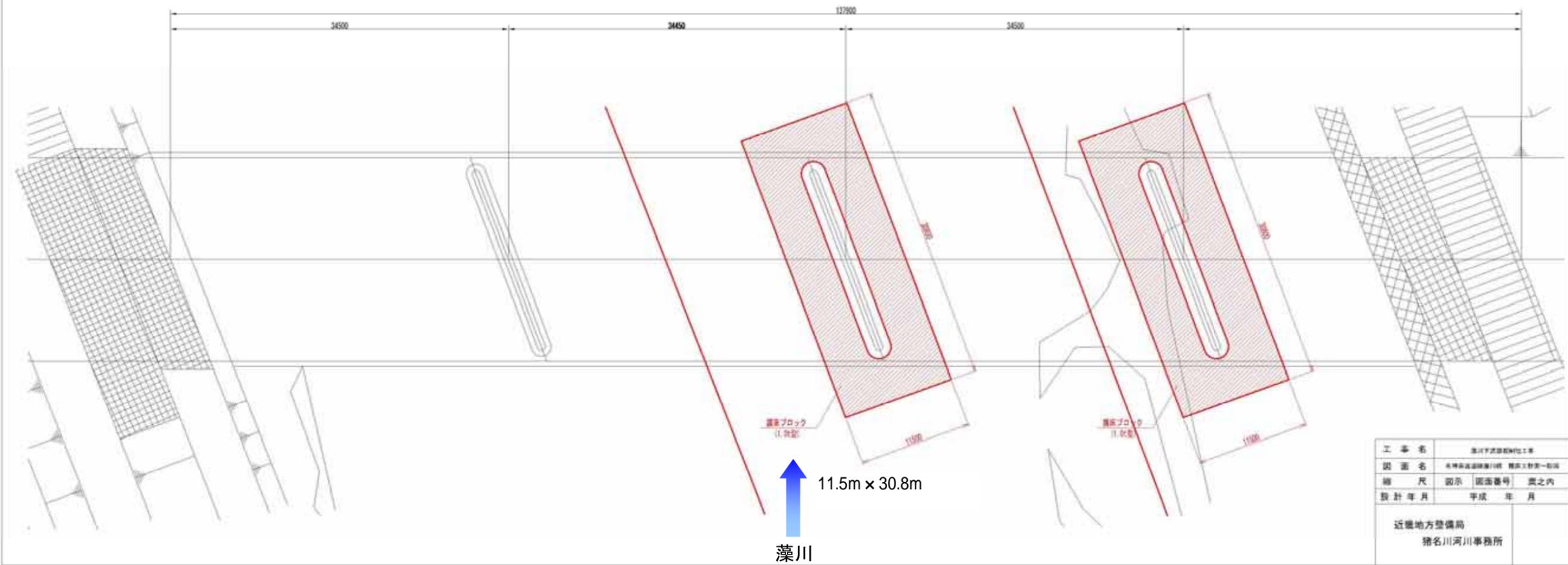
・ 締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査し、出現種は川に戻す。(目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する)。

名神高速道路藻川橋 護床工計画一般図

側面図 S=1/200



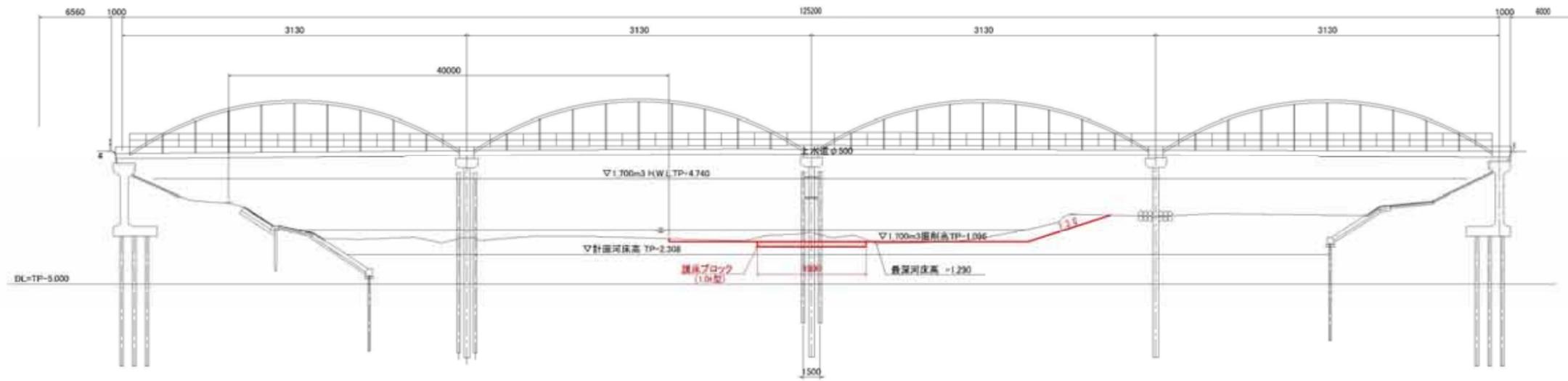
平面図 S=1/200



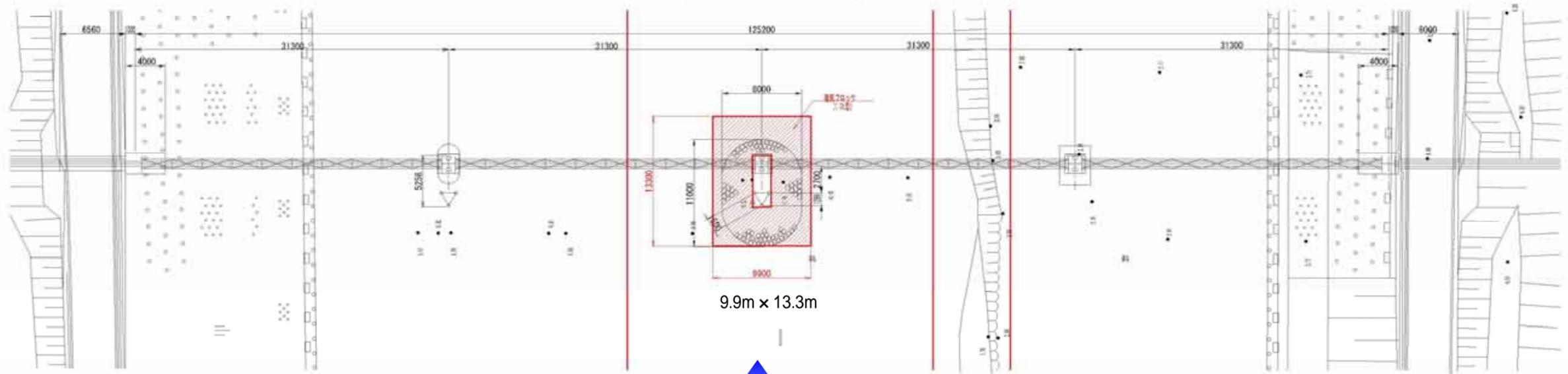
工事名	藻川下流河川改修工事
図面名	名神高速道路藻川橋 護床工計画一般図
縮尺	図示 図面番号 表之内
設計年月	平成 年 月
近畿地方整備局 猪名川河川事務所	

藻川水管橋 護床工計画一般図

側面図 S=1/200



平面図 S=1/200

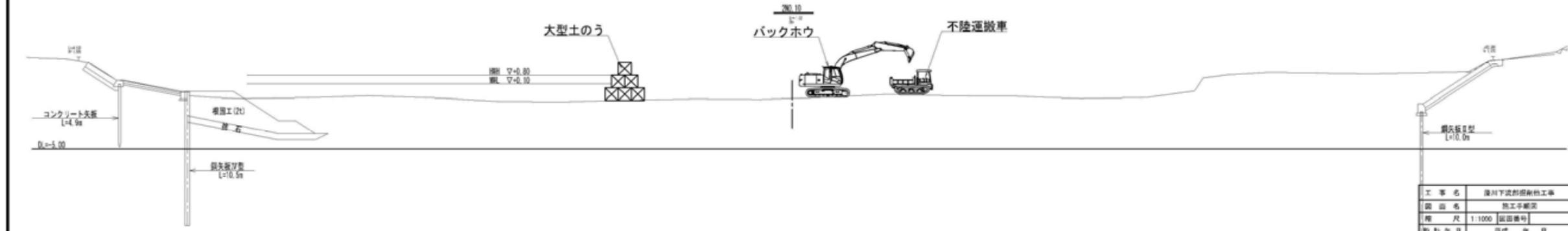
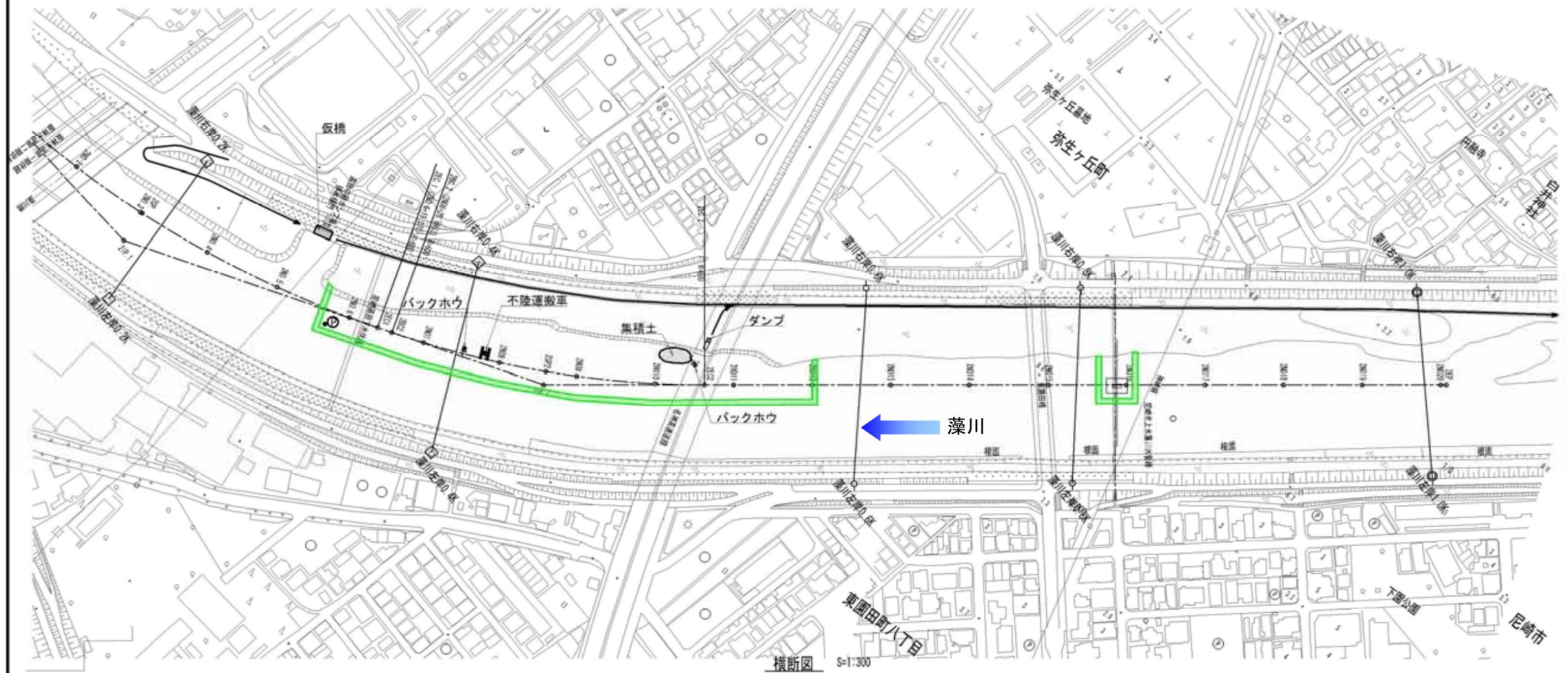


9.9m × 13.3m

藻川

工事名	藻川下水道処理施設工事		
図面名	藻川水管橋 護床工計画一般図		
縮尺	表示	図面番号	5-第之内 7
設計年月	平成	年	月
近畿地方整備局 徳島川河川事務所			

**施工手順図**  
 【S1-1】水上施工:台船使用[据替あり]      STEP2:水替え~右岸掘削  
 平面図 S=1:2500



工事名	藻川下流河川整備工事
図名	施工手順図
縮尺	1:1000 (図面標準)
設計年月	平成 年 月
近畿地方整備局 奈良川河川事務所	

## 生物調査結果

### 1) 調査時期

調査内容および調査実施時期を表 2-1 に示す。

表2-1 調査方法及び調査時期

調査項目	調査方法等	調査時期
植物	植物相調査 植生図作成 群落組成調査	春季：平成 23 年 6 月 13 日
鳥類	定点調査法 ルートセンサス法 任意観察法	春季：平成 23 年 6 月 13 日
底生動物	底性採取 底量採取	夏季：平成 23 年 8 月 25 日：調査中
陸上昆虫類	-	-
両生・爬虫・哺乳類	-	-
魚類	投網 タモ網 定置網 セルびんを用いた捕獲	夏季：平成 23 年 8 月 23～25 日
ヒメボタル調査	目撃法	春季：平成 23 年 6 月 8 日

### 2) 調査結果

#### (1) 植物

確認された重要種を表 2-2 に示す。

本調査地区では植物の重要種としてカワヂシャが確認された。カワヂシャは低水敷水際部で確認された。カワヂシャの種子の採取を行うように努める。

表2-2 植物重要種一覧

No	種名	工事箇所事前調査				重要種			
						環境省 RL	近畿 RDB	兵庫県 RDB	大阪府 RDB
1	カワヂシャ		1			NT	準絶滅	C	要注目
	確認種数	1	1		0	1	1	1	1

天津地区では植物調査は実施していない。

工事箇所 猪名川・藻川河道浚渫工事 名神猪名川橋、尼崎市上水道藻川水管橋構造物保護 天津地区低水護岸補修工事 利倉橋、猪名川サイフォン、猪名川第 2 サイフォン、猪名川第 3 サイフォン 構造物保護 名神猪名川橋、阪急神戸線猪名川橋梁、北部浄化センター伏越 構造物保護
---

#### (2) 鳥類

重要種は確認されていない。

#### (3) 底生動物

現在調査中である。

#### (4) 魚類

確認された重要種を表 2-3 に示す。

本調査地区では魚類の重要種としてウナギが確認された。

ウナギは河川下流から上流に生息し、護岸部（根入れ部）などに生息しているため、工事により生息環境に影響が及ぶ可能性がある。

締め切り内の魚介類の種類、個体数等の調査を行い、魚介類を川に戻す。

表2-3 魚類重要種一覧

No	種名	工事箇所事前調査				重要種			
						環境省 RL	兵庫県 RDB	大阪府 RDB	
1	ウナギ	2	1		1	情報不足			
2	ゲンゴロウブナ	2		4	9	E N			
3	カマツカ			21	10			要注目	
4	コウライモロコ			23	6		C	要注目	
5	ドジョウ				1		B	絶滅	
6	メダカ	5		3		V U	要注目種	絶滅	
7	ドンコ			4				要注目	
8	ウキゴリ			2			要調査種	絶滅	
	確認数合計 <sup>*1</sup>	9	1	57	17	10			
	確認種数	3	1	6	3	2	3	4	6

\*1 個体数合計は投網、タモ網、定置網、セルびんのそれぞれの個体数の合計値である。

工事箇所 猪名川・藻川河道浚渫工事 名神猪名川橋、尼崎市上水道藻川水管橋構造物保護 天津地区低水護岸補修工事 利倉橋、猪名川サイフォン、猪名川第 2 サイフォン、猪名川第 3 サイフォン 構造物保護 名神猪名川橋、阪急神戸線猪名川橋梁、北部浄化センター伏越 構造物保護
---

#### (5) ヒメボタル調査

本調査地区ではヒメボタルは確認されていない。

# 天津地区低水護岸補修工事

担当課：管理課	
工事名称	天津地区低水護岸補修工事
工事目的	<p>目的 低水護岸維持修繕のため</p> <p>内容                  工事延長 L=57.2m                  カゴマット工 A=507.9m<sup>2</sup>                  根固め工V=65.7m<sup>3</sup> 根固め工(ブロック)A=219.0m<sup>2</sup>                  護岸復旧工 L=35.2m                  既設フトンカゴ撤去・復旧 A=507.9m<sup>2</sup>                  仮締切工 L=127.0m</p>
工事場所	猪名川6.0～6.5km付近 右岸側
工事期間	
工事位置図 断面図等	
自然環境の把握状況 (主に特定種の情報など)	<p>鳥類:6.0kmまたは7.0km地点でアオジ、イカルチドリ、オオヨシキリ、カワウ、カワセミ、セッカ、イソシギが確認されている(H18年度水国)</p> <p>魚類:6.0km地点でウキゴリ、ギギ、ゲンゴロウブナ、コウライモロコ、タモロコ、ドジョウ、メダカが確認されている(H19年度水国)。</p> <p>爬虫類・両生類・哺乳類:右岸5.4km、6.6kmでカヤネズミの球巣が確認されている(H15年度水国)</p> <p>底生動物:5.4～6.0kmで、モノアラガイ、ヒラマキズマイマイ、ナガオカモノアラガイ、ヨコミゾドロムシが確認されている。(H20年度水国)</p> <p>：工事から大きな影響が想定される種</p> <p>：工事から影響が想定される種</p>
その他	
環境上の配慮事項(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・締切後、魚介類を川に戻す。</li> <li>・工事影響範囲を極力小さくする。</li> </ul>
上記の配慮を達成するための設計上、施工上の工夫・改良(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事影響範囲が比較的小規模であり、影響がないと判断できる。</li> <li>・締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査する(目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する)。</li> </ul>
調査方針(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事前に重要種確認ため簡易状況調査(植物、魚介類等)を行う。(締め切り内での魚介類簡易調査、仮設部分での植物簡易調査等)</li> </ul>

写真



右岸より撮影  
(平成23年2月20日撮影)

写真



写真



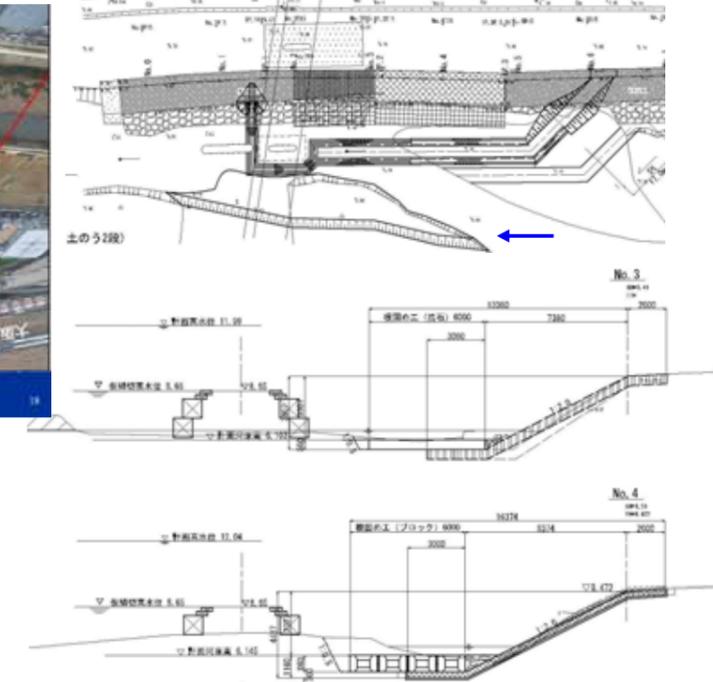
水際部



猪名川河川事務所より



猪名川6.2K (H19.3撮影)



## 第18回 猪名川自然環境委員会

- ・工事影響範囲が比較的小規模であり、影響がないと判断できるが、事前調査により重要種等が発見された場合、再度検討する。
- ・締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査する(目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する)。



## 第10回 構造検討部会

- ・締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査し、出現種は川に戻す。(目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する)。
- ・ツルヨシを除去し、礫河原の確保に努めること。

## 生物調査結果

### 1) 調査時期

調査内容および調査実施時期を表 3-1 に示す。

表3-1 調査方法及び調査時期

調査項目	調査方法等	調査時期
植物	-	-
鳥類	定点調査法 ルートセンサス法 任意観察法	春季：平成 23 年 6 月 13 日
底生動物	底性採取 底量採取	夏季：平成 23 年 8 月 24 日：調査中
陸上昆虫類	-	-
両生・爬虫・哺乳類	捕獲法 目撃法 フィールドサイン法 トラップ法(カメ類)	春季：平成 23 年 6 月 24 日、29～30 日 初夏：平成 23 年 7 月 26～27 日
魚類	投網 タモ網 定置網 セルびんを用いた捕獲	夏季：平成 23 年 8 月 23～25 日
ヒメボタル調査	目撃法	春季：平成 23 年 6 月 8 日

両生・爬虫・哺乳類調査は、トラップ法(カメ類)のみ特別採捕許可取得後の月末に実施した。

### 2) 調査結果

#### (1) 鳥類

確認された重要種を表 3-2 に示す。

本調査地区では鳥類の重要種としてオオヨシキリが確認された。

オオヨシキリはヨシ等の草地に生息するため、工事により生息環境に影響が及ぶ可能性がある。

繁殖期を避けて河川工事を行うように努める。

表 3-2 鳥類重要種一覧

No	種名	渡り区分	工事箇所事前調査					重要種			
								環境省 RL	近畿 RDB	兵庫県 RDB	大阪府 RDB
1	ササゴイ	夏鳥	1					3(繁殖)	C		準絶滅危惧
2	オオヨシキリ	夏鳥	10		50			3(繁殖)	B		準絶滅危惧
個体数合計			11	0	50	0	0	-	-	-	-
確認種数			2	0	1	0	0	0	2	2	2

個体数合計は定点調査法、ルートセンサス法、任意観察法のそれぞれの個体数の合計値である。

<b>工事箇所</b> 猪名川・藻川河道浚渫工事 名神猪名川橋、尼崎市上水道藻川水管橋構造物保護 天津地区低水護岸補修工事 利倉橋、猪名川サイフォン、猪名川第2サイフォン、猪名川第3サイフォン 構造物保護 名神猪名川橋、阪急神戸線猪名川橋梁、北部浄化センター伏越 構造物保護
--

#### (2) 底生動物

現在調査中である。

#### (3) 両生・爬虫・哺乳類

確認された重要種を表 3-3 に示す。

本調査地区では哺乳類の重要種としてカヤネズミが確認された。

カヤネズミは河川敷の草地で営巣しているため、工事により営巣環境に影響が及ぶ可能性がある。

カヤネズミの生息区域の生息区域の工事予定箇所では、繁殖期を避けて工事を行うように努める。(繁殖期：8～11月)

表 3-3 両生・爬虫・哺乳類重要種一覧

No	種名	工事箇所事前調査										重要種		
		春季		初夏		秋季		冬季		春		環境省 RL	兵庫県 RDB	大阪府 RDB
		春季	初夏	春季	初夏	春季	初夏	春季	初夏					
1	ニホンイシガメ											情報不足		要注目
2	ニホンヤモリ												要注目種	
3	ジムグリ												要注目種	
4	カヤネズミ													要注目
5	イタチ属の一種 <sup>*1</sup>													情報不足
確認種数		3	3			1	2	1	1	0	2	1	2	3

名神藻川橋・尼崎市上水道藻川水管橋では両生・爬虫・哺乳類調査は実施していない。

\*1 イタチ属の一種はニホンイタチまたはチョウセンイタチであり、ニホンイタチは大阪府レッドデータブックの DD(情報不足)に該当する。

<b>工事箇所</b> 猪名川・藻川河道浚渫工事 名神猪名川橋、尼崎市上水道藻川水管橋構造物保護 天津地区低水護岸補修工事 利倉橋、猪名川サイフォン、猪名川第2サイフォン、猪名川第3サイフォン 構造物保護 名神猪名川橋、阪急神戸線猪名川橋梁、北部浄化センター伏越 構造物保護
--



ニホンイシガメ(平成 23 年 7 月撮影、カメトラップ)

(4) 魚類

確認された重要種を表 3-4 に示す。

本調査地区では魚類の重要種としてゲンゴロウブナ、カマツカ、コウライモロコ、メダカ、ドンコ、ウキゴリが確認された。

メダカは河岸部の流れのゆるい箇所やワンドを主な生息場所としていることから、河道浚渫により生息場が失われる可能性がある。

締め切り内の魚介類の種類、個体数等の調査を行い、魚介類を川に戻す。

(5) ヒメボタル調査

本調査地区ではヒメボタルは確認されていない。

表3-4 魚類重要種一覧

No	種名	工事箇所事前調査					重要種		
							環境省 RL	兵庫県 RDB	大阪府 RDB
1	ウナギ	2	1			1	情報不足		
2	ゲンゴロウブナ	2		4		9	E N		
3	カマツカ			21	10				要注目
4	コウライモロコ			23	6			C	要注目
5	ドジョウ				1			B	絶滅
6	メダカ	5		3			V U	要注目種	絶滅
7	ドンコ			4					要注目
8	ウキゴリ			2				要調査種	絶滅
確認数合計 <sup>*1</sup>		9	1	57	17	10			
確認種数		3	1	6	3	2	3	4	6

\*1 個体数合計は投網、タモ網、定置網、セルびんのそれぞれの個体数の合計値である。

工事箇所  
 猪名川・藻川河道浚渫工事  
 名神猪名川橋、尼崎市上水道藻川水管橋構造物保護  
 天津地区低水護岸補修工事  
 利倉橋、猪名川サイフォン、猪名川第2サイフォン、猪名川第3サイフォン 構造物保護  
 名神猪名川橋、阪急神戸線猪名川橋梁、北部浄化センター伏越 構造物保護



ドンコ (平成 23 年 8 月撮影)



ウキゴリ (平成 23 年 8 月撮影)

利倉橋、猪名川サイフォン、猪名川第2サイフォン、猪名川第3サイフォン 構造物保護

担当課：工務課	
工事名称	利倉橋、猪名川サイフォン、猪名川第2サイフォン、猪名川第3サイフォン 構造物保護
工事目的	目的  内容
工事場所	豊中市利倉 猪名川2.7～2.8km付近
工事期間	
工事位置図 断面図等	
自然環境の把握状況 (主に特定種の情報など)	鳥類：2.0km地点でイソシギ、ササゴイ、3.0km地点でオオヨシキリ、マガモが、3.4km地点でイカルチドリが確認されている(H18年度水国) 植物：3.9km地点でゴキツルが岩屋排水樋門下流の低水敷内のヨシ原で確認されている(H16年度水国) 両生類・爬虫類・哺乳類：2.3km地点でイシガメが確認されている(H15年度水国)
: 工事から大きな影響が想定される種 : 工事から影響が想定される種	
その他	
環境上の配慮事項(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 締切後、魚介類を川に戻す。</li> <li>・ 工事影響範囲を極力小さくする。</li> </ul>
上記の配慮を達成するための設計上、施工上の工夫・改良(案)	
調査方針(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事前に重要種確認ため簡易状況調査(植物、魚介類等)を行う。(締め切り内での魚介類簡易調査、仮設部分での植物簡易調査等)</li> </ul>



第18回 猪名川自然環境委員会

・ 工事影響範囲がきわめて小規模であり、影響がないと判断できるが、事前調査により重要種等が発見された場合、再度検討する。  
 ・ 締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査する(目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する)。

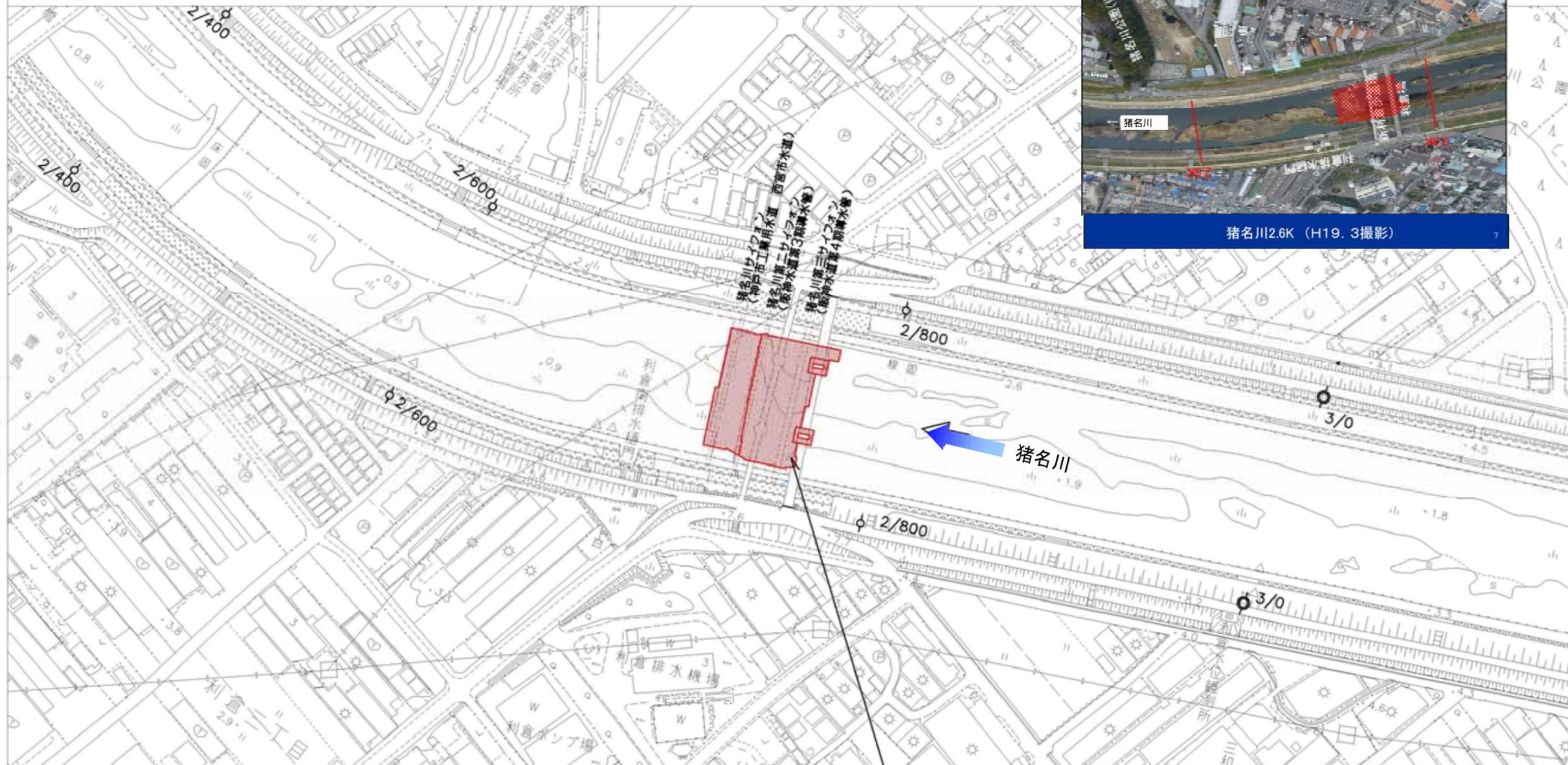


第10回 構造検討部会

・ 締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査し、出現種は川に戻す。(目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する)。

平面図（利倉橋・猪名川第1～第3サイフォン）

S=1:1000

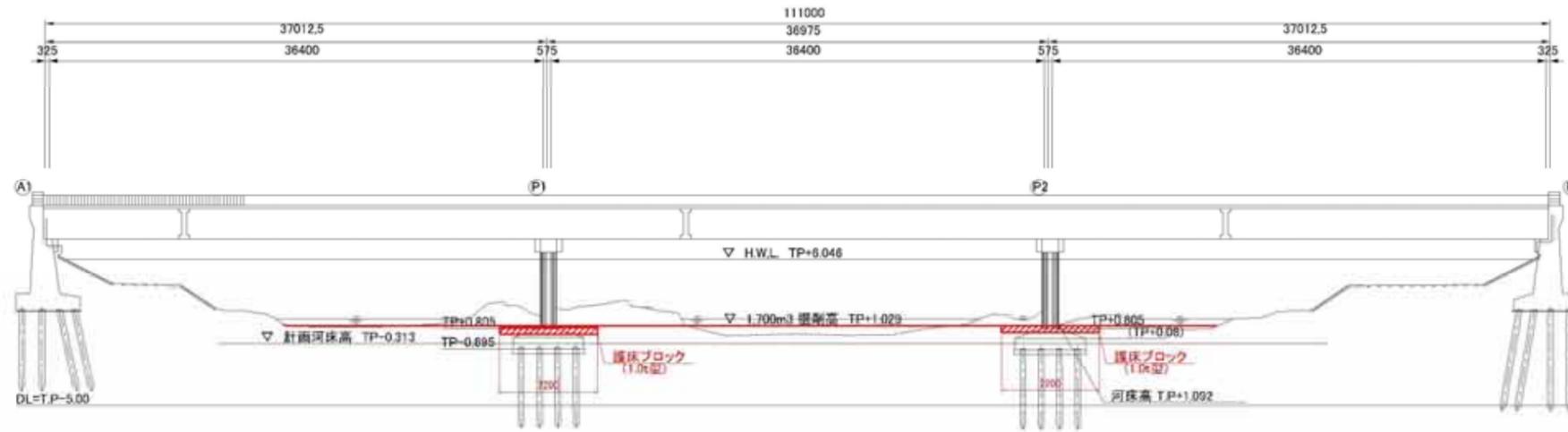


護床ブロック敷設工

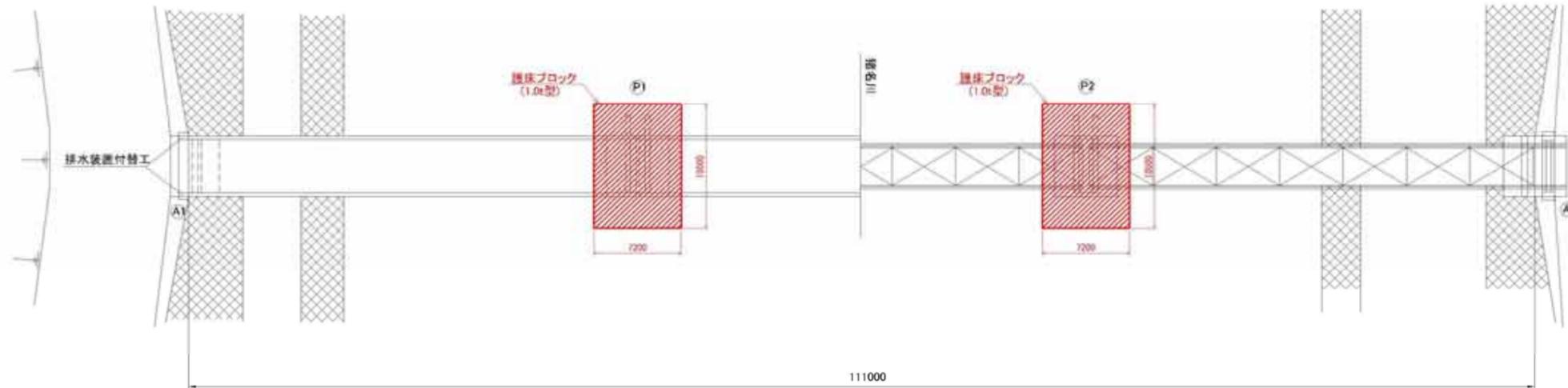
工事名	利倉地区緑地のブロック設置工事
図面名	平面図
縮尺	1:1000 図面番号
設計年月	平成 年 月
近畿地方整備局 猪名川河川事務所	

# 利倉橋 護床工計画一般図

側面図 S=1/200



平面図 S=1/200



↑  
猪名川

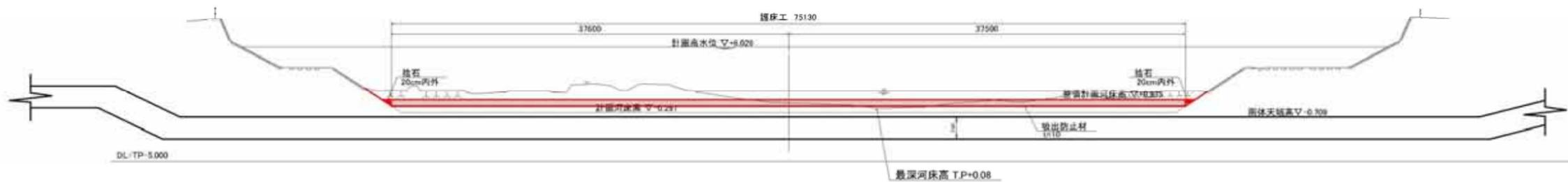
工事名	利倉地区根拠のブロック設置他工事
図面名	利倉橋 護床工計画一般図
縮尺	図示 図面番号 葉之内
設計年月	平成 年 月
近畿地方整備局 猪名川河川事務所	

猪名川第1～第3サイフォン 護床工一般図  
縮尺 1/200

猪名川第1サイフォン



猪名川第2サイフォン

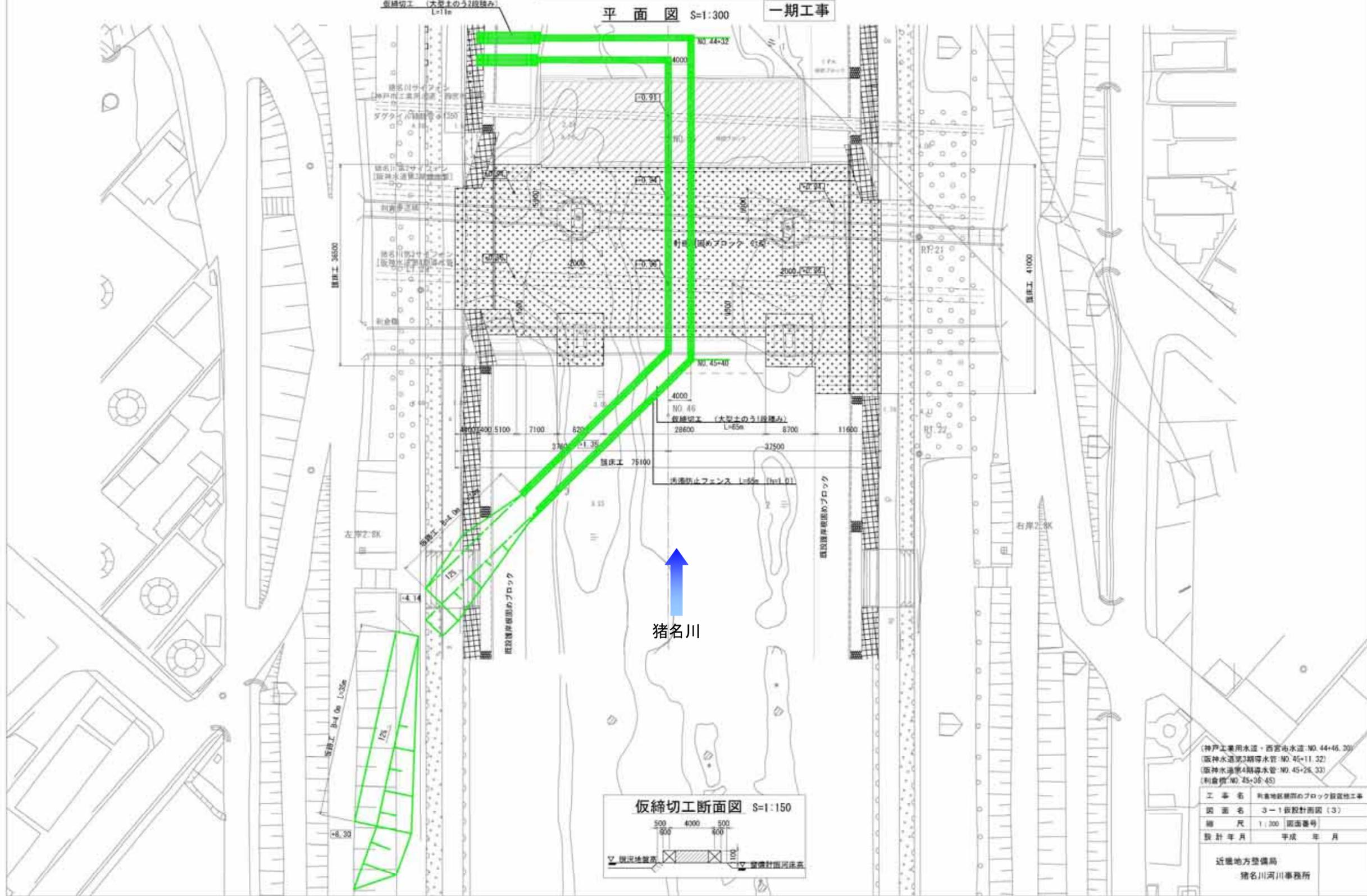


猪名川第3サイフォン



工事名	
図面名	利倉橋 護床工計画一般図
縮尺	図示 図面番号 8 葉之内 3
設計年月	平成 年 月
近畿地方整備局 猪名川河川事務所	

3-1工区仮設計画図(3) (利倉橋他: NO. 45付近)



(神戸工業用水道・西宮南水道: NO. 44+46. 20)  
 (阪神水道第3期導水管: NO. 45+11. 32)  
 (阪神水道第4期導水管: NO. 45+26. 33)  
 (利倉橋: NO. 45+35. 45)

工事名	利倉地区利便性のブロック設置性工事
図面名	3-1仮設計画図(3)
縮尺	1:300 (図面番号)
設計年月	平成 年 月

近畿地方整備局  
 猪名川河川事務所



## 生物調査結果

### 1) 調査時期

調査内容および調査実施時期を表 4-1 に示す。

表4-1 調査方法及び調査時期

調査項目	調査方法等	調査時期
植物	植物相調査 植生図作成 群落組成調査	春季：平成 23 年 6 月 14 日
鳥類	定点調査法 ルートセンサス法 任意観察法	春季：平成 23 年 6 月 13 日
底生動物	底性採取 底量採取	夏季：平成 23 年 8 月 24 日：調査中
陸上昆虫類	任意採取法 ビットフォールトラップ法	春季：平成 23 年 6 月 13 日 夏季：平成 23 年 8 月 23～24 日
両生・爬虫・哺乳類	捕獲法 目撃法 フィールドサイン法 トラップ法(カメ類)	春季：平成 23 年 6 月 13 日、29～30 日 初夏季：平成 23 年 7 月 26～27 日
魚類	投網 タモ網 定置網 セルびんを用いた捕獲	夏季：平成 23 年 8 月 24～25 日
ヒメボタル調査	目撃法	春季：平成 23 年 6 月 8 日

春季両生・爬虫・哺乳類調査は、トラップ法(カメ類)のみ特別採捕許可取得後の月末に実施した。

### 2) 調査結果

#### (1) 植物

重要種は確認されていない。

#### (2) 鳥類

重要種は確認されていない。

#### (3) 底生動物

現在調査中である。

#### (4) 陸上昆虫類

確認された重要種を表 4-2 に示す。

本調査地区では陸上昆虫類の重要種としてヤマトアオドウガネが確認された。

工事中に発見された場合には同様な環境の場所に移動する。

表 4-2 陸上昆虫類重要種一覧

No	種名	工事箇所事前調査								重要種				
		春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	環境省	兵庫県	大阪府		
1	ヤマトアオドウガネ													
確認種数		0	1					0	1	0	0	0	1	0

名神藻川橋、尼崎市上水道藻川水管橋、天津地区では陸上昆虫類調査は実施していない。

<b>工事箇所</b> 猪名川・藻川河道浚渫工事 名神猪名川橋、尼崎市上水道藻川水管橋構造物保護 天津地区低水護岸補修工事 利倉橋、猪名川サイフォン、猪名川第2サイフォン、猪名川第3サイフォン 構造物保護 名神猪名川橋、阪急神戸線猪名川橋梁、北部浄化センター伏越 構造物保護
--

#### (5) 両生・爬虫・哺乳類

確認された重要種を表 4-3 に示す。

工事区域周辺で爬虫類の重要種としてニホンヤモリ、哺乳類の重要種としてイタチ属の一種が確認された。

イタチは草地や水辺に生息しているため、工事により生息環境に影響が及ぶ可能性がある。

表 4-3 両生・爬虫・哺乳類重要種の一覧

No	種名	工事箇所事前調査								重要種				
		春季	初夏季	春季	初夏季	春季	初夏季	春季	初夏季	環境省	兵庫県	大阪府		
1	ニホンイシガメ										情報不足		要注目	
2	ニホンヤモリ											要注目種		
3	ジムグリ											要注目種		
4	カヤネズミ												要注目	
5	イタチ属の一種 <sup>*1</sup>												情報不足	
確認種数		3	3			1	2	1	1	0	2	1	2	3

名神藻川橋・尼崎市上水道藻川水管橋では両生・爬虫・哺乳類調査は実施していない。

\*1 イタチ属の一種はニホンイタチまたはチョウセンイタチであり、ニホンイタチは大阪府レッドデータブックの DD(情報不足)に該当する。

<b>工事箇所</b> 猪名川・藻川河道浚渫工事 名神猪名川橋、尼崎市上水道藻川水管橋構造物保護 天津地区低水護岸補修工事 利倉橋、猪名川サイフォン、猪名川第2サイフォン、猪名川第3サイフォン 構造物保護 名神猪名川橋、阪急神戸線猪名川橋梁、北部浄化センター伏越 構造物保護
--



ニホンヤモリ（平成 23 年 7 月撮影）



カマツカ（平成 23 年 8 月撮影） コウライモロコ（平成 23 年 8 月撮影） ドジョウ（平成 23 年 8 月撮影）

（ 6 ） 魚類

確認された重要種を表 4-4 に示す。

本調査地区では魚類の重要種としてカマツカ、コウライモロコ、ドジョウが確認された。

カマツカ、コウライモロコ、ドジョウは主に砂泥底部に生息している。そのため工事により生息環境に影響が及ぶ可能性がある。

締め切り内の魚介類の種類、個体数等の調査を行い、魚介類を川に戻す。

（ 7 ） ヒメボタル調査

本調査地区ではヒメボタルは確認されていない。

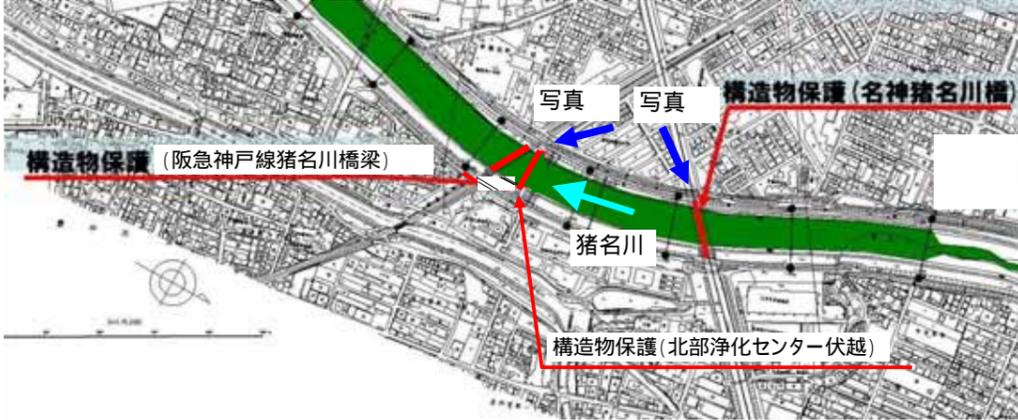
表 4-4 魚類重要種一覧

No	種名	工事箇所事前調査					重要種		
							環境省 RL	兵庫県 RDB	大阪府 RDB
1	ウナギ	2	1			1	情報不足		
2	ゲンゴロウブナ	2		4		9	E N		
3	カマツカ			21	10				要注目
4	コウライモロコ			23	6			C	要注目
5	ドジョウ				1			B	絶滅
6	メダカ	5		3			V U	要注目種	絶滅
7	ドンコ			4					要注目
8	ウキゴリ			2				要調査種	絶滅
確認数合計 <sup>*1</sup>		9	1	57	17	10			
確認種数		3	1	6	3	2	3	4	6

\*1 個体数合計は投網、タモ網、定置網、セルびんのそれぞれの個体数の合計値である。

工事箇所  
 猪名川・藻川河道浚渫工事  
 名神猪名川橋、尼崎市上水道藻川水管橋構造物保護  
 天津地区低水護岸補修工事  
 利倉橋、猪名川サイフォン、猪名川第 2 サイフォン、猪名川第 3 サイフォン 構造物保護  
 名神猪名川橋、阪急神戸線猪名川橋梁、北部浄化センター伏越 構造物保護

名神猪名川橋、阪急神戸線猪名川橋梁、北部浄化センター伏越 構造物保護

担当課：工務課	
工事名称	名神猪名川橋、阪急神戸線猪名川橋梁、北部浄化センター伏越 構造物保護
工事目的	目的  内容
工事場所	猪名川1.1～1.5km付近
工事期間	
工事位置図 断面図等	 <p>Map showing the location of construction sites for bridge and overpass protection along the Ina River. The sites are marked with red lines and labels: 構造物保護(名神猪名川橋), 構造物保護(阪急神戸線猪名川橋梁), 猪名川, and 構造物保護(北部浄化センター伏越). Blue arrows point to specific locations on the map, with the word '写真' (Photo) written above them.</p>
自然環境の把握状況 (主に特定種の情報など)	<p>鳥類：1.0kmでマガモが、1.0km、2.0km地点でイソシギ、ササゴイ、3.0km地点でオオヨシキリ、3.4km地点でイカルチドリが確認されている(H18年度水国)</p> <p>魚類：猪名川0.4km～0.6kmでウナギ、ウロハゼ、カワアナゴ、タウナギ、チチブが確認されている(H19年度水国)</p> <p>底生動物：猪名川0.4km～0.6kmでイシマキガイ、カワザンショウガイ、ヤマトシジミ、ミゾレヌマエビ、ユビナガスジエビ、クロベンケイガニが確認されている(H20年度水国)</p> <p>植物：.0.0km地点でゴキゾルが確認されている(H16年度水国)</p> <p>両生類・爬虫類・哺乳類：1.9km地点でイシガメが確認されている(H15年度水国)</p>
その他	
環境上の配慮事項(案)	・工事影響範囲を極力小さくする。
上記の配慮を達成するための設計上、施工上の工夫・改良(案)	
調査方針(案)	・工事前に重要種確認ため簡易状況調査(植物、魚介類等)を行う。(仮設部分での植物簡易調査等)



右岸より撮影  
(平成23年2月13日撮影)

第18回 猪名川自然環境委員会

- ・工事影響範囲がきわめて小規模であり、影響がないと判断できるが、事前調査により重要種等が発見された場合、再度検討する。
- ・締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査する(目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する)。



第10回 構造検討部会

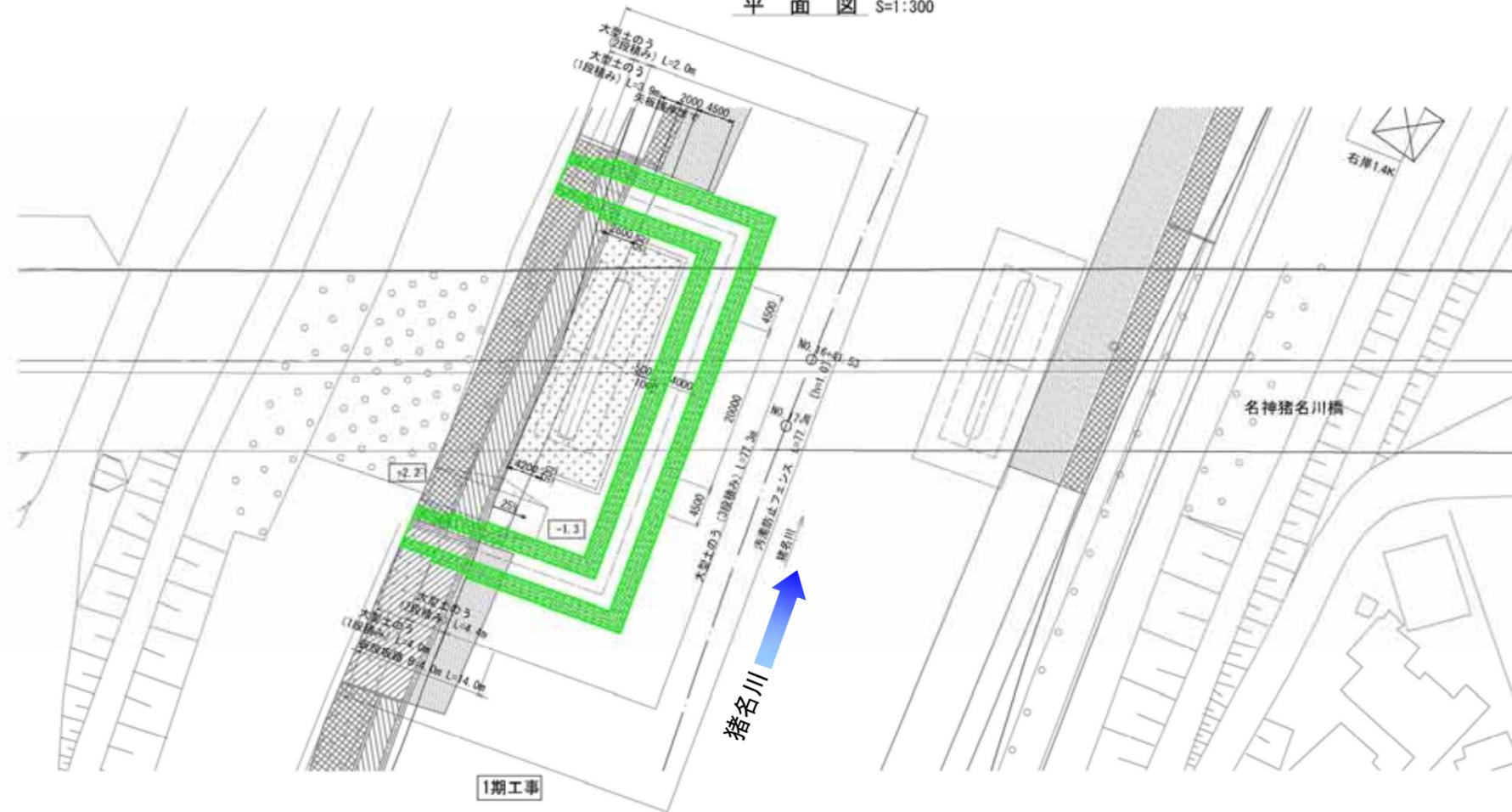
- ・締切を行った際、締切内の魚類の種と個体数を調査し、出現種は川に戻す。(目視程度の判別で可とする。但し、特殊と思われるものは、捕獲し同定する)。



## 2-2工区仮設計画図 (2)

[名神猪名川橋梁 1/2]

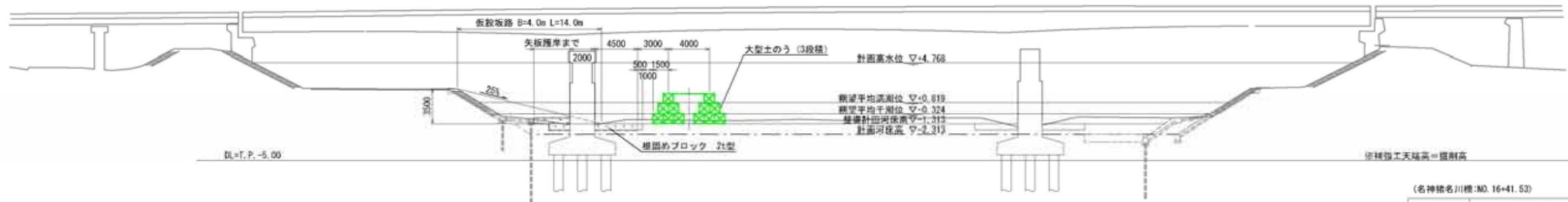
平面図 S=1:300



1期工事

1期工事

横断図 S=1:200



(名神猪名川橋: NO. 16+41.53)

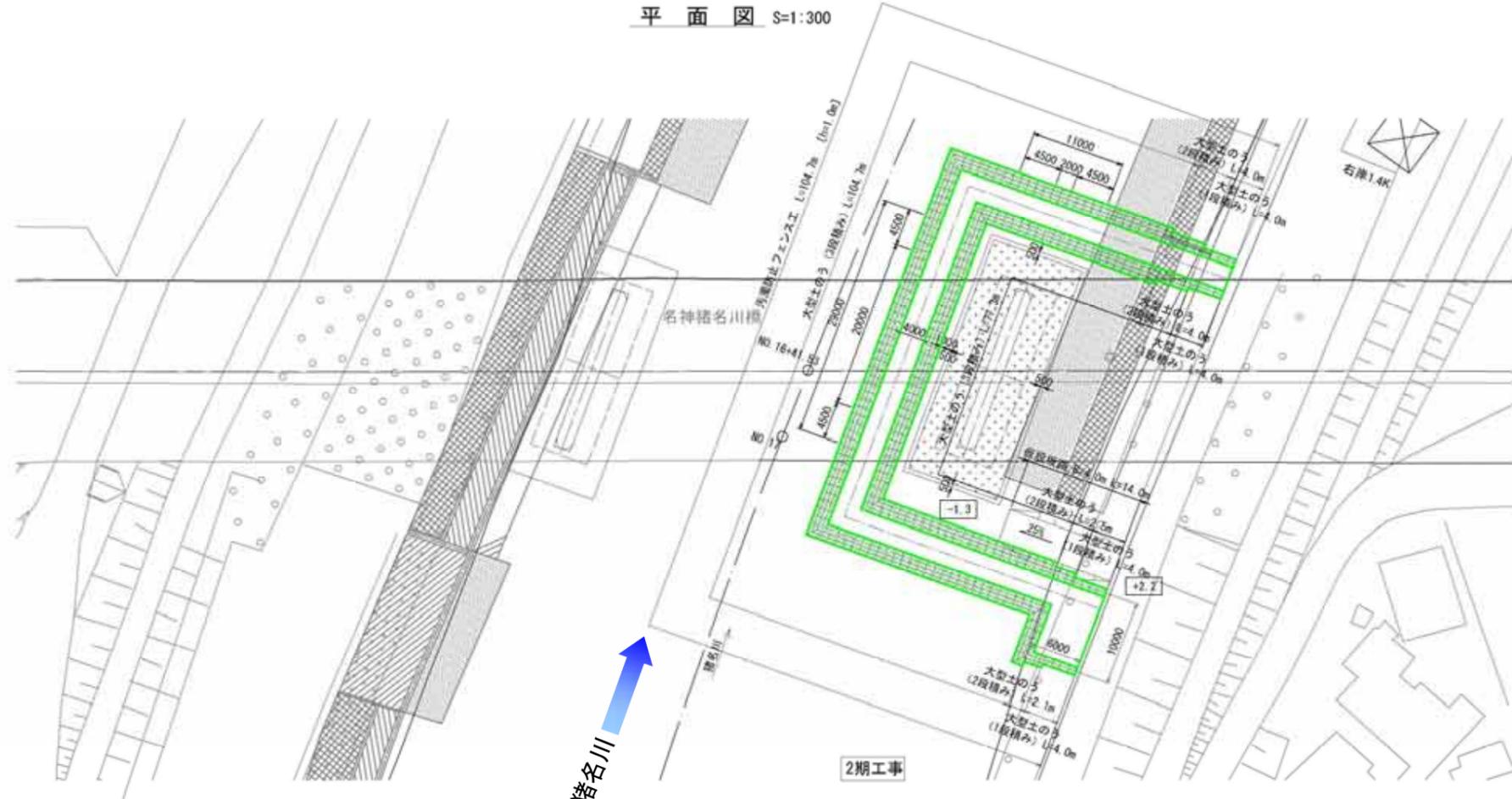
工事名	名神猪名川橋仮設面のブロック設置工事
図面名	2-2工区仮設計画図 (2)
縮尺	図示 図面番号
設計年月	平成 年 月

近畿地方整備局  
猪名川河川事務所

### 2-2工区仮設計画図 (3)

[名神猪名川橋梁 2/2]

平面図 S=1:300



横断図 S=1:200



(名神猪名川橋: NO. 16+41.53)

工事名	名神猪名川橋梁架設に伴うブロック敷設工事
図面名	2-2工区仮設計画図 (3)
縮尺	図示 図面番号
設計年月	平成 年 月

近畿地方整備局  
猪名川河川事務所

## 生物調査結果

### 1) 調査時期

調査内容及び調査実施時期を表 5-1 に示す。

表5-1 調査方法及び調査時期

調査項目	調査方法等	調査時期
植物	植物相調査 植生図作成 群落組成調査	春季：平成 23 年 6 月 14 日
鳥類	定点調査法 ルートセンサス法 任意観察法	春季：平成 23 年 6 月 13 日
底生動物	底性採取 底量採取	夏季：平成 23 年 8 月 24 日：調査中
陸上昆虫類	任意採取法 ビットフォールトラップ法	春季：平成 23 年 6 月 13～14 日 夏季：平成 23 年 8 月 23～24 日
両生・爬虫・哺乳類	捕獲法 目撃法 フィールドサイン法 トラップ法（カメ類）	春季：平成 23 年 6 月 13～14 日、29～30 日 初夏：平成 23 年 7 月 26～27 日
魚類	投網 タモ網 定置網 セルびんを用いた捕獲	夏季：平成 23 年 8 月 24～25 日
ヒメボタル調査	目撃法	春季：平成 23 年 6 月 8 日

春季両生・爬虫・哺乳類調査は、トラップ法（カメ類）のみ特別採捕許可取得後の月末に実施した。

### 2) 調査結果

#### (1) 植物

重要種は確認されていない。

#### (2) 鳥類

重要種は確認されていない。

#### (3) 底生動物

現在調査中である。

#### (4) 陸上昆虫類

重要種は確認されていない。

#### (5) 両生・爬虫・哺乳類

確認された重要種を表 5-2 に示す。

本調査地区では爬虫類の重要種としてニホンイシガメ、ニホンヤモリが確認された。

工事中にニホンヤモリが確認された場合には可能な限り同様な環境の場所に移す。

表 5-2 両生・爬虫・哺乳類重要種の一覧

No	種名	工事箇所事前調査										重要種		
		春季		初夏		秋季		冬季		春		環境省 RL	兵庫県 RDB	大阪府 RDB
		1	2	1	2	1	2	1	2					
1	ニホンイシガメ											情報不足		要注目
2	ニホンヤモリ												要注目種	
3	ジムグリ												要注目種	
4	カヤネズミ													要注目
5	イタチ属の一種 <sup>*1</sup>													情報不足
確認種数		3	3			1	2	1	1	0	2	1	2	3

名神藻川橋・尼崎市上水道藻川水管橋では両生・爬虫・哺乳類調査は実施していない。

\*1 イタチ属の一種はニホンイタチまたはチョウセンイタチであり、ニホンイタチは大阪府レッドデータブックの DD(情報不足)に該当する。

#### 工事箇所

猪名川・藻川河道浚渫工事  
名神猪名川橋、尼崎市上水道藻川水管橋構造物保護  
天津地区低水護岸補修工事  
利倉橋、猪名川サイフォン、猪名川第2サイフォン、猪名川第3サイフォン 構造物保護  
名神猪名川橋、阪急神戸線猪名川橋梁、北部浄化センター伏越 構造物保護



ニホンイシガメ（平成 23 年 7 月撮影）

#### (6) 魚類

確認された重要種を表 5-3 に示す。

本調査地区では魚類の重要種としてウナギ、ゲンゴロウブナが確認された。

ウナギは河川下流から上流に生息し、護岸部（根入れ部）などに生息しているため、工事により生息環境に影響が及ぶ可能性がある。

締め切り内の魚介類の種類、個体数等の調査を行い、魚介類を川に戻す。

表 5-3 魚類重要種一覧

No	種名	工事箇所事前調査					重要種		
							環境省 RL	兵庫県 RDB	大阪府 RDB
1	ウナギ	2	1			1	情報不足		
2	ゲンゴロウブナ	2		4		9	E N		
3	カマツカ			21	10				要注目
4	コウライモロコ			23	6			C	要注目
5	ドジョウ				1			B	絶滅
6	メダカ	5		3			V U	要注目種	絶滅
7	ドンコ			4					要注目
8	ウキゴリ			2				要調査種	絶滅
確認数合計 <sup>*1</sup>		9	1	57	17	10			
確認種数		3	1	6	3	2	3	4	6

\*1 個体数合計は投網、タモ網、定置網、セルびんのそれぞれの個体数の合計値である。

工事箇所  
 猪名川・藻川河道浚渫工事  
 名神猪名川橋、尼崎市上水道藻川水管橋構造物保護  
 天津地区低水護岸補修工事  
 利倉橋、猪名川サイフォン、猪名川第2サイフォン、猪名川第3サイフォン 構造物保護  
 名神猪名川橋、阪急神戸線猪名川橋梁、北部浄化センター伏越 構造物保護

(7) ヒメボタル調査

本調査地区ではヒメボタルは確認されていない。

# 平成23年度 伐木計画 中流区間



# ヒメボタル調査

## 1. 調査実施状況

ヒメボタル成虫の調査は平成23年6月8日(水)に実施した。

表-1 調査日及び作業内容

調査実施日	天候	作業内容
平成23年6月8日(水)	晴れ	日中：調査範囲を踏査し、主な植生や外灯の有無を記録した。 夜間：調査範囲を踏査し、ヒメボタルの出現状況を確認・記録した。

調査地点は表に示すとおりである。

表-2 調査地点一覧

対象工事等		調査時点	調査項目
事前調査	猪名川・藻川河道浚渫工事	猪名川 0.0～0.6km 藻川 0.0～1.0km	ヒメボタル 成虫調査
	名神猪名川橋、 阪急神戸線猪名川橋構造物保護	猪名川 1.1～1.5km	
	天津地区低水護岸補修工事	猪名川 6.0～6.5km	
	名神猪名川橋から藻川分派地点	猪名川 1.4～5.4km	
名神藻川橋から猪名川分派地点	藻川 0.5～4.6km		
猪名川 7.2km 付近	猪名川 7.2～7.4km		



図-1 ヒメボタル調査の実施状況

## 2. 調査結果

調査の結果、計31個体のヒメボタルが確認された。特に猪名川7.2～7.4kmのハリエンジュ林で19個体と最も多くの個体が確認された。

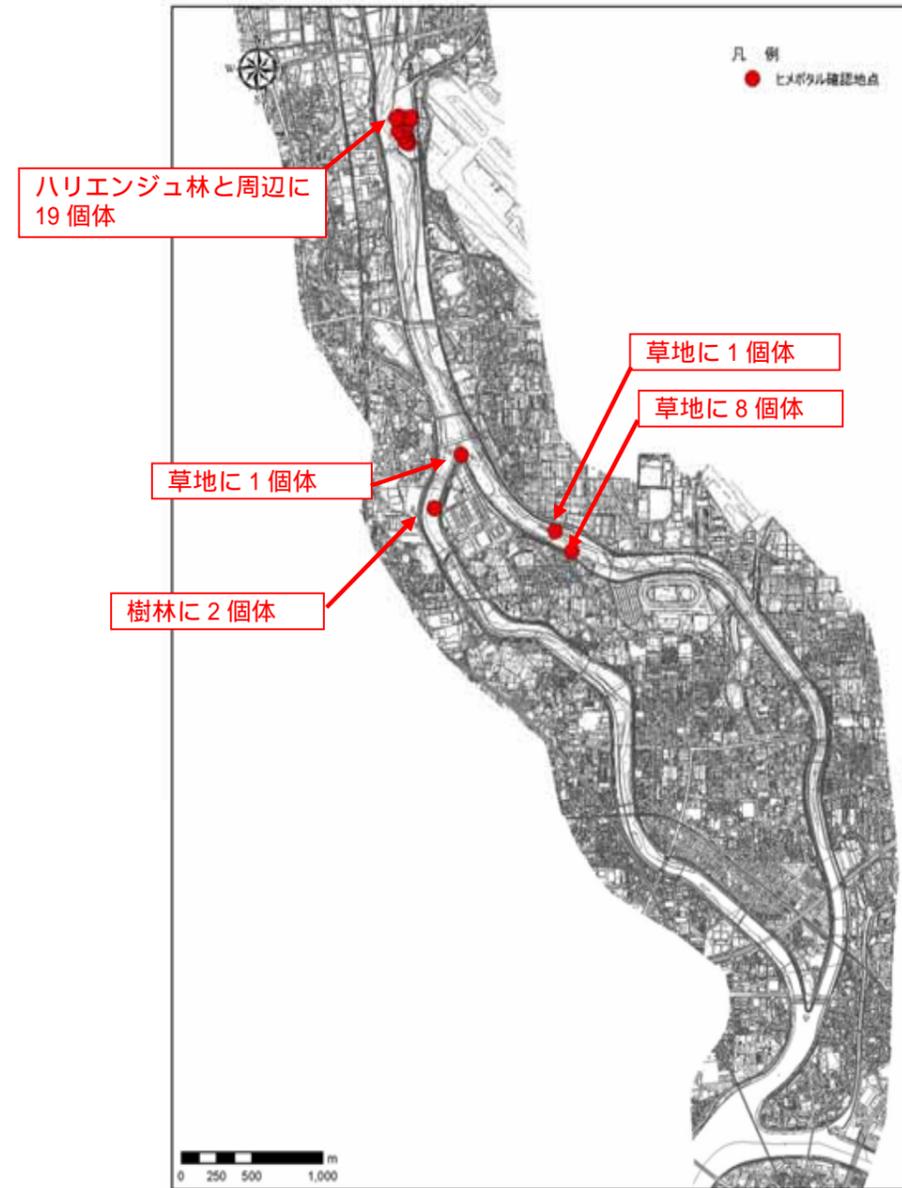


図-2 ヒメボタル調査結果

平成23年度の伐木予定区域内で、ハリエンジュ林にヒメボタルが確認されているために、伐木するにあたってはヒメボタルの生育する現況土への配慮が必要である。このため必要以上に土壌の攪乱は行わない。

尚、具体的な伐木にあたっては、「兵庫県立人と自然の博物館」八木主任研究員にヒヤリングを行って実施する。

第10回構造検討部会  
ハリエンジュの伐採については問題ないが、表土を必要以上に乱さないこと。また、具体的な伐採に当たっては、これまでどおり「兵庫県立人と自然の博物館」の八木主任研究員にヒヤリングを行って進めること。